

本校生徒を取り巻く教育環境

—学校行事の現状と課題—

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

鈴木 清夫・入江 友生・宇田川麻由
亀村ひかり・合田 浩二・阪田 卓洋
宮崎 大輔

本校生徒を取り巻く教育環境

—学校行事の現状と課題—

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

鈴木 清夫・入江 友生・宇田川麻由
亀村ひかり・合田 浩二・阪田 卓洋
宮崎 大輔

要約

本校は創立以来 70 年間、音楽祭、体育祭、及び文化祭などの学校行事の持つ教育力に注目し、生徒の成長に積極的に活用してきた。各行事の準備の様子から、以前に比べ生徒個々の能力はいろいろな点で高まっているが、コミュニケーションをうまくとることができない者が増えており、SNS などでのトラブルも急増している。また近隣へも今まで以上に気を遣う必要があるなど、学校行事を有意義に実施するための障害は増えてきた。しかし多くの生徒たちはこれらの活動から得るものを大切に思い、最大限の努力を費す。SSH などの新たな活動を含め、オーバーワークにならないような枠組み作るとともに、一つ一つの問題を生徒自身が解決できるよう丁寧にアドバイスしていく必要がある。

キーワード：学校行事、音楽祭、体育祭、文化祭、実施状況と課題

1. はじめに

本校は 2017 年 5 月に創立 70 周年を迎える。この間、学校行事の持つ教育力に注目し、生徒の成長に積極的に活用してきた。社会の状況の変化や SSH 研究開発に関わる新たな活動を踏まえつつ、主な学校行事である音楽祭、体育祭、及び文化祭の実施状況と課題について報告する。

ラス編成前から次年度の準備を始める者もいる。次のアンケート結果の通り、一般の生徒たちの音楽祭へのモチベーションも高い。

設問：音楽祭のやる気について教えてください。

1 非常に高い 2 高い 3 ふつう 4 低い 5 非常に低い

(音楽祭生徒アンケートより、高3除く、2015年6月実施)

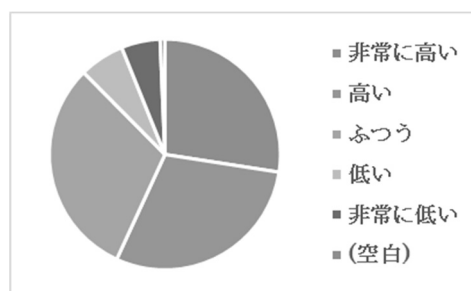
2. 学校行事の現状と課題

主な学校行事である音楽祭・体育祭・文化祭はいずれも高校 2 年生の実行委員が中心になって運営し、中 1 から高 3 までの 6 学年すべてが参加して実施する。以下各行事について実施状況と課題を順に記す。

2.1. 音楽祭

クラス対抗の合唱コンクールである音楽祭は 6 月に、日本有数のコンサートホールの昭和大学人見記念講堂で実施する。本年度は 6 月 17 日(金)に別紙プログラムのように行った。中学は課題曲と自由曲を 1 曲ずつ、高校は自由曲 2 曲を、クラスから選ばれた指揮者、ピアニストのもと演奏する。

4 月の指揮及びピアニストの決定から始まり、選曲、パートごとの練習、全体練習と進み本番を迎える。学級の生徒が一堂に会する時間は学校行事の中で最も長く、教育的な価値は高い。上級生には新ク



問題点として毎年のように当日の生徒の移動、昼食、練習時の騒音、編曲の著作権、保護者対応などが挙げられるが、近年生徒が真面目に取り組みすぎることなどからか、実施時期が運動部の試合と重なることなどを含む練習過剰、関連してリーダーの過負担を心配する声も上がってきた。特に中 1、中 2 などへのアドバイスは難しい。2016 年度の実施状況及び教員アンケートなどを踏まえて、担当者(生徒部

文化行事係) がまとめた課題は次の通りである。

2016 年度音楽祭実施状況と課題 (生徒部文化行事係)

今年度の変更点

- ①生徒の出発時間および開場・開演時間の変更
- ②中学生の昼食、高校生のゼリー飲料配布の実施

次年度に向けた検討事項

1. 事前準備について

- ・「自由曲選曲の締切が早すぎる」との意見あり。(中1はGW明け、それ以外は4月中)
 - 現状では、出演順に曲の長さは関係していない。締切をもう少し遅くできないか音実で検討させたい。
- ・休日練習に偏りがあった。係から担任の先生方の都合を聞いていなかった。
 - 希望調査票を出す段階で、生徒が担任の先生方の都合を伺うように徹底させたい。
 - 運動部の活動や地域研究の活動などの負担を考慮すると、中学生の休日練習を止めるべきとの意見あり。
- ・平日練習の月曜日のスケジュールに問題があった。
 - 集会のある日は開始時間を遅らせるか、「放課後1」をなくす、もしくは職員会議のある月曜日は避ける。

2. 当日の音実生徒と係の動きについて

- ・先生方のご協力あって、大きな事故などなく終えられた。
- ・音実めぐり担当が上手く回っていなかった。(今年度の変更点との関連はない)

3. 特別参加団体について

- ・2010年度以降の参加数は7→6→7→5→6→6→6。次年度以降も増加は避けたい。
- ・前年度のうちに特参一次申請書(顧問署名あり)で希望数を調査し、参加数を話し合いで調整している。
- ・管弦楽団のリハーサルを廃止して開演時間を早めた。
 - 昼休みに場ミリなしで椅子を並べ、時間に余裕を持って着席できていた。
- ・ステージ雑壇上での一斉ジャンプ、客席でのサイリウム(光る棒)を振り回す行為が見られた。
 - 人見記念講堂での講堂としては慎むべき。音実広報などで注意を促したい。

4. 当日の一般生徒の動きについて

- ・例年1枚だった音実広報を「ステージマナー」と「当日の行動のマナー」に分け、前者は例年通り6月上旬、後者は直前の月曜日に配布した。
- ・学校～会場移動時の生徒の行動は、例年よりも多少改善された。
 - 音楽祭直前にあった一般の方からのクレームにより注意が促され、逆に効果的だったと考えられる。
- ・コンビニに入ろうとする、歩きながら飲食・スマホ操作は依然

として見受けられた。(特に終演後)

- ・想定より早く出発したり、講堂に入らず大学敷地内で打ち合わせをしていた生徒がいた。
 - 今後も音実や係からマナーを周知徹底したい。担任の先生方からもHR生徒への指導をお願いしたい。
- ・生徒が演奏中に寝ている。
 - 練習でかなり疲労が蓄積。「演奏をすべて聴きたい、聴かせたい」という意見が出るのは教員側のみ。
 - 指導の問題ではなく、早朝練習や長時間にわたるプログラムそのものに問題があるのでは?

5. 当日の来場者のマナーについて

- (※控室での飲食とロビーでの水筒以外、ホール内、ロビー、講堂前、正門前、飴ガム含めて一切の飲食禁止)
- ・講堂前の車道横断、曲間に入ろうとする、立ち見、荷物で席取り、講堂前での立ち食い、終演後の歩きながらのスマホ操作、講堂前の車道上から記念撮影など…
 - 見かけたら、見過ごさずにその場で必ず声をかけていただくよう、改めて先生方をお願いしたい。
 - 注意を促す貼り紙を、各扉、ロビー、座席などにもっと大きく掲示する工夫はもっとできる。
- ・昼休憩時、教員留学生御一行も大学隣コンビニ前の路上で飲食していた。

→来年度以降、飲食店での昼食を予めお願いするか、飲食できる休憩部屋を設ける必要がある。

→保護者も飲食可能な部屋を一箇所設ければ、講堂前飲食は減る? 上手控室3部屋の使い方を検討したい。

6. 保護者お手伝い係について

- ・保護者お手伝い説明会は、5/7(土) 駒場会総会の日に実施。
- ・優先席の不足、優先席に座る方の基準が明確でない、午後の来場者は優先席が一杯だったなど、対応に苦慮。
 - 来年度は優先席を広げ、2階保護者席への案内を明示する。優先席係を作る、基準の明確化が必要。
- ・席取りの荷物はやはり撤去しにくい。
 - 教員の仕事と、保護者お手伝い係の仕事の分担を明確に分けて示す必要がある。
 - マニュアルや係の配置はまだ改善の余地がある。
- ・「クラス懇親会や保護者会等での声掛けが必要」との意見が出た。
 - 1学期の保護者会やクラス懇親会で、前年度お手伝いした役員から声掛けしてもらえないか?

7. 教員の係分担について

- ・受付は準備、ピーク時、片付けに2名、招集は2人→3人体制、交通整理係の増員など、少しずつ変更した。
- ・教員席に救護席を設置。体調不良の生徒を寝かせる部屋がなかった。
→下手側の控室が1つ空いているが、2階ロビーの一角でも可能か。検討の余地あり。

8. 生徒の昼食について

- ・中学担任の先生方の多大なるご協力のもと、中学生の昼食はほぼ問題なく実施できた。
- ・中1は朝のリハーサル後、時間を持て余してしまった。
- ・中学生が「高校生の歌を全て聴けないのは残念」という意見もある。
→来年以降も実施なら、事前に音実広報で部屋の位置や昼食シフトを明示させる。色々改善の余地がある。

- ・高校生は声出し後にゼリー飲料を配布し、リハーサル室で飲ませた。

→運搬、ゴミなどは特に問題なかった。(クラス別の段ボールに予め人数分入れ、ゴミも箱に回収)

→高1、高2はほとんど飲み、高3は大半が残した。(高3特参はリハ後9:30~10:15にリハ室で昼食)

→高1音実からは「意外と不評だった」「飲んだ直後は歌いにくい」という意見も出ている。

→生徒アンケート次第で来年も実施するか、音実に検討させたい。

- ・高校大衆賞から、高校HRは各クラス2名の投票による「高校生徒審査員賞」へ変更した。

→音実生徒の集計作業の短縮につながった。

→これも生徒アンケートで来年も実施するか検討させたい。

第64回音楽祭 来場者数

	A組	B組	C組
中学1年	66	53	59
中学2年	54	49	64
中学3年	58	50	58

学年計
178
167
166

中学計	511
-----	-----

	1組	2組	3組	4組	学年計
高校1年	48	52	44	54	198
高校2年	46	50	52	46	194
高校3年	59	65	60	54	238

高校計	630
-----	-----

保護者計	1141
------	------

OB	33
その他	6

合計	1180
----	------

※参考 過去の来場者数

2015年	第63回	1124
2014年	第62回	1077
2013年	第61回	1065
2012年	第60回	1128
2011年	第59回	1082

(参考) 音楽祭教員アンケート結果 *回収19名(内 担任12名)

以下数値は、4点(問題ない)、3点(ほぼ問題ない)、2点(やや問題)、1点(大いに問題あり)で評価点を算出。

I 事前準備について

1 自由曲の選曲はスムーズに行われましたか。平均2.8 (昨年3.1、一昨年2.8)

順調(2名) ほぼ順調(6名) やや難航(3名) 難航(1名)

- ・指揮、ピアノの選出はもっと難航しました。

2 自由曲選曲の締切はどうでしたか。平均2.6 (昨年3.0、一昨年2.8)

遅い(0名) 適当(8名) やや早い(3名) 早い(1名)

- ・「新しいクラスになって、T1、T2、Br、Bs などの分布や声量などの把握ができないうちに選曲しなければならない…」と高3が言っていた。

3 指揮者・パートリーダーはリーダーシップを発揮できていましたか。平均 3.4 (昨年 3.3、一昨年 2.8)

発揮できた(8名) ほぼ(1名) あまり(3名) 発揮できず(0名)

4 早朝練習・放課後練習の集まりはいかがでしたか。平均 3.8 (昨年 2.5、一昨年 2.3)

9割以上(2名) 7割以上(8名) 半数程度(2名) 半数未満(0名)

- ・音楽室や旧中図だと9割だが、普段は半数程度だった。
- ・直前の2週間は9割以上だった。

5 音楽室・旧中図の割り当てについて 平均 3.2 (昨年 3.5、一昨年 3.3)

問題ない(5名) ほぼ問題ない(4名) やや問題(3名) 大いに問題あり(0名)

- ・土日練習が前半に偏りすぎた(5月中にほぼ終了した)ので、何らかの配慮があるとよい。中1は希望の出し方もよくわかっていない。
- ・中1は割り当てが早く直前にあまり無かった(本人たちの希望か…)。
- ・職員会議の時間帯に入ると、会議を抜けざるを得ないこと。日曜日なのに20分遅れのスケジュールになっていないこと。
- ・月曜日の「放課後1」は、掃除の時間と被って厳しいです。やむをえず、教室掃除を後回しにしました。

6 音楽室・旧中図の使用状況について 平均 3.4 (昨年 3.3、一昨年 3.1)

問題ない(8名) ほぼ問題ない(3名) やや問題(3名) 大いに問題あり(0名)

- ・練習が終わった後、高1生徒が「使用許可を得ている」と枠外で旧中図を使用していた。そういう利用の仕方があるのか?
- ・ごみが落ちていることがあった。基本的に施設をきれいに使う意識が足りない。また集会で音楽委員長が使用のマナーについて訴えていたので。
- ・週番で廻った限りは問題ないと思います。むしろ文実本部前の青色ビニールシートの散乱の方が気懸かりです。
- ・旧中図は木材などが置かれていて狭くなっています。片付けた
- いものですが、どこへ持っていけば良いものでしょうか?
- ・忘れ物がある。
- ・少し前だが教師用ピアノの蓋が壊されていた。また FF ファンヒーターの電源が入っていたり、使用后ピアノの蓋が空いていたり、ピアノの譜面台がきちんと収納されていなかったりした。ピアノのカヴァーも乱雑になっていたりした。教師用ピアノ及び教師用ピアノ椅子も使用しないでいただきたい。

7 音楽・文化行事係の準備について 平均 3.3 (昨年 3.1、一昨年 3.3)

問題ない(9名) ほぼ問題ない(4名) やや問題(4名) 大いに問題あり(0名)

- ・接待担当の音楽がお菓子の受け取りになかなか来なく、待つ時間が長かった。きちんと時間指定すれば良かったと反省しています。
- ・選曲の締切が早く、まだ生徒の様子がつかめていないので、指揮や伴奏の人選にアドバイスができませんでした。また、選曲リストに中1向けの印があると良かったです。楽譜を見てから変更することができたら、と思いました。
- ・音楽であることを口実に練習にほぼ参加しない生徒がいる。もしくは練習に参加したくないがために音楽になる生徒がいる。
- ・運営が大変なことは承知ですが、休日の練習について、担任教員の都合を聞かずに割り振られているように思います。今年の中3でどこでも顧問をするつもりでいたことはいたのですが、クラスの希望を聞いて、決定するときに担任の都合も確認したほうが良いかと思います。(クラブ活動、文化祭全般について)例えばクラブ活動の大会や練習試合も関わってきます。そもそも休日練習は必要でしょうか。そこから生徒に考えさせたいです。

II 当日について

1 生徒の演奏について感じたことをお願いします。

- ・いつもすばらしい歌声やパフォーマンスに感動しています。
- ・例年ですが、中1と高3に感動しました。
- ・緊張していたが、のびのびと歌えていたと思う。
- ・中3はどのクラスも昨年にも増してリーダーがよくリーダーシップを発揮し、よく練習していたので、明らかにその成果が出ていたと思います。最高学年としての責任を果たすことができました。
- ・指揮者、ピアニストのイニシアティブの有無が大きいな、と改めて感じました。
- ・2-2が一番良かったと個人的には思っています^^
- ・高2特参がステージ上でジャンプしたことについては、申し訳ありませんでした。問題なかったでしょうか?
- ・皆よく頑張っていたと思います。
- ・特参団体が大勢で飛び跳ねていましたが、大丈夫でしょうか。人数によっては心配なので先方に確認していただきたいです。
- ・クラスごとの合唱は練習の成果が発揮されて良かったと思います。特別参加団体については、年々人数が増えていって、それが特別感がないと感じます。
- ・特参のピアノ演奏の際の手拍子は予定されていたものだったのでしょうか。今回、何でも手拍子をするという傾向が強まっているように感じました。
- ・リハーサルも無しでよく歌っていた。全クラスのリハーサル(短時間でも)ができれば良いのですが…。

2 生徒の会場への行き帰りの経路や態度について 平均 3.6 (昨年 2.9、一昨年 3.2)

問題ない(9名) ほぼ問題ない(6名) やや問題(1名) 大いに問題あり(1名)

- ・コンビニに入ろうとする生徒が多すぎる。歩きながらの飲食は数名いた。歩きながらのスマホは10名以上いた。帰りは講堂前にいたが、仲間と連絡を取るためか歩きながらのスマホが多数いた。講堂を出たら飲食して構わないという生徒が数名いた。
- ・生徒以上に保護者の歩きながらのスマホが目立った。また車道上から写真を撮ろうとしたり人を探したりする人が多かった。
- 17:10 過ぎても保護者が10名以上残っていた。
- ・会場への移動について、前日や直前の指導をきちんと行った。
- ・視聴覚の引率で早く(8:30頃)に行き、正門前配置に入りました。特参(教員の引率しない)の生徒も早く来ていたので、その場で対応しましたが、次年度は予め教員配置が決まっていた方がいいと思いました。

3 生徒の会場内での様子や鑑賞態度について 平均 2.7 (昨年 3.0、一昨年 2.5)

問題ない(2名) ほぼ問題ない(10名) やや問題(5名) 大いに問題あり(1名)

- ・ホールの横は扉が二重ではないので、生徒移動時の騒音がホール内に聞こえてくるがありました。
- ・演奏後のクラスの中には、大挙してロビーのモニター前に移動して鑑賞している者もありました。(注意を与えて戻しました。)
- ・舞台や客席でサイリウム(光る棒)を振る行為が見られたが、「人見」での振るまいとして許容されるのであろうか。
- ・中1はリハから開会式までの時間を持て余してしまっていた。昨年までは食事タイムがあったが、今年からなくなったので。
- ・上の学年が読書やゲームをしているので、やっていいものの中1が思ったフシがあるのは問題だった。
- ・昼食の後は寝てしまう。
- ・例年通りだが、眠ってしまう生徒もいました。
- ・高校生の半分は寝ている。「聴く」ことも音楽祭の一部だと思います。来年は私からも、学級の生徒に指導します。
- ・寝てしまう生徒が多いのは毎年のことですが、寝る姿勢がひどい。
- ・担任が指導すべきですが、鑑賞態度が良くない。クラスで音実と協力して1週間前、直前、当日朝などにしつこく注意すべきだと思う。
- ・演奏中に私語が多い。演奏直前にステージ手前を上手に走るのには避けてもらいたい。

4 音実生徒・文化行事係の動きについて ※音響・照明は視聴覚委員 平均 3.4 (昨年 3.6、一昨年 3.4)

問題ない(10名) ほぼ問題ない(4名) やや問題(3名) 大いに問題あり(0名)

- ・トラックからの楽器おろしも同時に音実にも手伝ってもらいました。ありがとうございました。できたら毎年の仕事にして下さい。
- ・高3の演奏中に、「審査員席」と書いた貼りが空調の風で揺れて騒音になっていました。席を離れて押さえに行かなければならないくらいうさかったです。
- ・めくりにうまく人が配置されていなかったように見えました。
- ・タイトルをめくるのが演奏中になっていた。
- ・めくり担当の仕事が圧倒的に遅い。曲の半ばを過ぎてからめくっていることがあった。あそこまで遅くなったらむしろ出て来ない方が良いでしょう。
- ・進行がスムーズで時間の遅延もほとんどなく、素晴らしかったです。

5 ご自身の係分担について 平均 3.2 (昨年 3.6、一昨年 3.3)

問題ない(9名) ほぼ問題ない(4名) やや問題(4名) 大いに問題あり(1名)

- ・曲間に入ろうとする保護者を止め切れない。優先席はいつまでも空けておけないので、埋まった後での誘導案内などが難しい。
- ・下手の会場係の時、中の席の様子を見ている際に保護者が大量に入ってきて、立見を始めて困った。
- ・優先席を利用したくても利用できない方が多数いた。1階の保護者席案内が2階にも多数あることを表している方が多い。2階には保護者席案内図がないのでわかりにくい。一度トラブルになりかけた。(空席が2階席後方にあるに気付かず、ご自分が入った周辺は荷物をおいて人がいない席が多かったため)
- ・生徒部会で打ち合わせをしたほうが良い。生徒が8:20前から出発していて、あわてて自転車で現地へ向かった。
- ・誘導の係生徒はよく動いていましたが、入退場の出入口が想定とは異なり、対応に苦労したクラスもありました。
- ・出番の後、席に戻るまでの待機場所(会場横の廊下)で大きな声(ロビーに響き渡るくらい)で話しているクラスもあり、さすがに会場には響いていないと思いますが少し気になりました。
- ・今回、体調不良の生徒が出たのですが、休養を取らせる場所がなく、困りました。今後、体調不良などの生徒が出た場合を考慮し、保健室のような部屋、できればソファなど体を横にできる環境を用意していただくと良いな、と思いました。人見記念講堂の中には医務室的な設備はありませんでした。横になる環境がなくても、部屋を確保していただいて、学校からマットなどを準備していくということを検討して良いかもしれません。
- ・クラス座席数のカウントが違っていた。
- ・高校後半直前休憩が8分ではトイレに行くのも大変でした。また冷たい飲み物を用意していただくと短時間で水分補給が出来ますし、日本茶やコーヒーでやけどをすることがなくて助かります(現に私は口の中をやけどしました)。また、もう少し早めに呼びにきてくださらないと高校後半に審査員無しで演奏が始まってしまうところでした。舞台との連携をしっかりしてもらいたい

6 駒場会保護者お手伝い係について 平均 3.6 (昨年 3.3)

問題ない(10名) ほぼ問題ない(5名) やや問題(1名) 大いに問題あり(0名)

- ・時間になっても来ず困った。
- ・受付は大変助かりました。
- ・熱心にやっけていただいているようでした。
- ・指揮者の母が特等席で息子の指揮を見て感激していました。

7 生徒の昼食について 平均 2.7 (昨年 2.3)

問題ない(2名) ほぼ問題ない(7名) やや問題(7名) 大いに問題あり(0名)

- ・良かったです。とても改善されました。
- ・ありがとうございました。とても良かったと思います。是非、今後も続けていただきたいです。
- ・中学生が高校生の歌を聴けないのは残念に感じた。出入りも幕が上がっても動いていて気になった。
- ・中学昼食は、健康上の配慮は必要ではありますが、やはり先輩たち全クラスの演奏を聴かせてあげたいと思うのはわがままでしょうか。
- ・中1は昼食タイムがあり、安心して歌えたと思います。高校生の歌が聴けないのは残念ですが、昼食タイムはあって良かったです。
- ・音実の誘導生徒が昼食場所を把握しておらず、最初迷子になったが、全員問題なく食べることができた。ゴミも出さなかった。念のため出る前にチェックしました。
- ・中1はリハ後の方が寝ないのでは？演奏中の出入りが慌ただしい。

- ・3Aは移動開始が休憩時間と重なったため、半分位の生徒が途中でぐれてしまい、昼食時間を十分とることができませんでした。せめて控室の場所や地図など事前に示していただけると良いと思います。また、休憩と重なると、トイレに行く時間もなくなり、演奏の合間にトイレに行く生徒が出てしまいました。食事をできたのは大変良かったと思います。
- ・昼食の案内の生徒の指示がはっきりせず、どの扉から出ればいいのか分からなくてちょっと混乱しました。
- ・昼食をとることは良かったと思いますが、担任、音実から連絡したにも関わらず昼食をもってきていない生徒もいた。

8 その他、ご感想・ご意見を願います。

- ・大きな変更（時間、昼食）を周到に準備して順調に実施できた事は、係の先生、生徒部、音実たちの力によると感じました。
- ・お昼休みに保護者が玄関でお昼ごはんを食べ始めたので、貼り紙などしておく注意しやすいのではと思った。
- ・保護者がホール外でおにぎりやスナック菓子を立って食べていたのに驚きました。「マナーを守ってほしい」では伝わらないのではないのでしょうか…。来年から注意書きに入れて下さい。
- ・見学に見えた教員留学生さんたち7～8人が、正門脇のコンビニで購入したお昼をコンビニ前歩道で召し上がっていました。この辺りの助言はどなたがどのような形でなされたいのでしょうか…（留学生担当の先生にはお伝えしました）。
- ・保護者のマナー、ホール内、入口前での飲食は特になんとかしたいですね…。
- ・係り当番で、優勝クラスの歌声が聞けなかったのがとても残念。
- ・リーダー生徒の状況を見ますと、体力的にかなり厳しいと感じました。体調を崩しがちでしたし、音楽部の練習に全く出られないなど、とても困っていました。中学生なので、練習の匙加減が分からず喉を痛めたり、腱鞘炎になったりする生徒もいました。中3にもなると生徒は練習をしたがりますが、中学生については練習規模の縮小を検討してみてもよいかと思います。様子を見るという意味で、登校日以外の中学生の休日練習を無くしてみてもどうでしょうか。（伴奏者がピアノに触る機会を確保するという意味では必要との生徒の声もありましたが。）
- ・内藤先生の総評ですが、以前おっしゃられたのは「難しい曲を選べ」ではなく、「年齢にふさわしい（易しい）曲を選べ」だったはずで、生徒はその方向で選曲しています。また、事後ではなく事前であれば、選曲について御指導いただくことはとてもありがたいことです。
- ・今回3Cと1Cはともに3位となりましたが、その後どこからか3Cは1Cよりも低い評価だったとの話が生徒たちに伝わっているようです。このような裏事情は生徒に知らせる必要はないと思います。伴奏者の生徒からは自身を責める言葉が多く発せられており、トラウマにならないか心配です。
- ・3Cは（中3全般に）練習量が極めて多く、62期の高3時と比較してもさほど変わらない、あるいはそれより多いと感じるほどでした。朝練・放課後練ともに常時7～9割の参加率で、昼は毎日パート練が入っていました。リーダー生徒の指示は非常に緻密で、中3とはこれほど熱心に練習するものなのかと、中学担任を経験して初めて知りました。しかし、このような状況で期待どおりの評価が伴わなかった場合、リーダー生徒の挫折感は極めて大きいです。音楽祭はすばらしい行事なのですが、一部生徒に対してはかなり深刻な悪影響を与えています。評価至上主義とそれ故の過剰な練習は、いずれも生徒が自ら招いたことではありますが、中学においては是非とも改めるべきだと

- ・中学生が弁当を持って行くのを見て「今年は食べてもいい」と勘違いした高校生や保護者がいたように思います。昼食によって高校生の演奏を聞けないのも少し残念…。
- ・高3が飲まなかったゼリー飲料を音実が持って帰って下さり助かりました。翌月曜日に担任に預けていただけると生徒一人一人に確実に渡せたと思いますが、今年は昼休みに音実が教室に置いたため、生徒が勝手に持って行ってしまい、誰に行き渡ったのかわからなくなってしまいました。
- ・どれほどの生徒が飲んだのか、そもそも飲むことを必要としているのか、生徒アンケートを取って欲しい。

思います。

- ・ロパクをしている生徒がいると、大きな減点がなされるらしいとの噂を生徒から聞きました。これが事実だとするならば、歌以外を優先したい生徒の意志も尊重しなければならない担任の立場においては、非常に困ったこととなります。ロパクの結果、声量が足りずにトータルで評価が下がるというのは当然ですが、ロパクという行動を理由に全体の評価を下げるということがあれば、当該生徒がクラスの厄介者扱いされたり、いじめられたりします。事実ではないとしても、生徒がその噂を信じている状況は改められるべきです。噂を明確に打ち消してほしいです。
- ・中3の担任として、練習の頑張りから入賞できたことに感動しました。中2までは音楽祭に消極的だった生徒も中学の最上級生としてみんなとまとまり励んでいました。そのような体験を経て音楽祭を好きになっていくのだろうとわかりました。5月、6月の真剣に歌に取り組む姿が非常に良いと思います。

一方で生徒の負担がかなり大きいものになります。朝練と放課後練は休むことが許されずに精神的にもきついものです。運動クラブの生徒はこの時期に3年生の大会があり3年間の集大成としてはクラブも休むことができずに厳しい状態で取り組むことになります。学級担任がクラスの音楽祭練習に関わることで運動クラブの方で参加を調整せざるを得ず引退のかかる大会で人数をそろえて練習をすることができない状況ができてチーム内でぶつかってしまいます。音楽祭練習とクラブの練習の同時進行はクラブを削るしかないかな、と思います。

また校外学習のアポ取り、事後の報告書作成と放課後の時間はぶつかってしまいます。校外学習の活動量も見直す必要があるかと思いますが、報告書の締め切り日を設定しても音楽祭の前は音楽祭練習のために、報告書作成は校外学習委員も生徒もあきらめるしかない状況でした。その結果期末の試験や課題レポートと一緒に終わらなくて先送り状態になってしまいます。これが生徒のストレスになってしまい数か月ストレスが続いた状態になります。

音楽祭練習もこの時期にやらずにいつやるのかと思いますし良い時期だと思いますが、それぞれの行事の活動量のバランスは調整しなければならないかと思います。生徒が主体的に練習を増やしたがるので良いことですが、休日練習を減らすなどはできないでしょうか。体育祭は自分が行事係のときは、朝練や昼練や夏休み中の練習は体実に生徒の体調や負担を考えてもらい、基本的には行わないように決めていました。

生徒にとって授業、クラブ、行事の負担をかけるのは成長のために大事なことだと思いますが、量を検討しないと健康面では体調を崩す生徒が減らないと思います。

2.2 体育祭

学年の枠を取り払ったチームで優勝を争う体育祭は数多くの種目を同時並行して10月の2日間で行う。実施種目は全体で行う種目を含めて年により若干

変更されるが、運動の苦手な者も参加できるように工夫している。以下は2016年度第69回体育祭のタイムテーブルである。

※ グラウンド南側中央の「H」、バスケ校舎側の「V」ではそれぞれハンド、バレーを行う（太枠内）。

	1 日目							
	グラウンド				体育館		テニスコート	
	南側		北側		バスケ 武道館側	バスケ 校舎側	バレー グラウンド側	バレー マンション側
ミニ 道路側	ミニハンド 中央	ハンド 武道館側	サッカー					
08:30-08:55	開会式							
09:00-09:05	準備体操							
09:10-09:40	大縄							
09:51-10:23	中1A A-B	中2A B-C	高2 1-4	高1 1-2	中3 A-C	高3 2-3	中3 A-B	高3 3-4
10:29-11:01	中1B A-C	H 中3 B-C	高3 1-4	高2 2-4	中2 A-B	高1 2-3	中2 A-C	高1 1-3
11:07-11:39	中2B A-B	H 高1 1-3	高1 2-4	高3 1-3	中1 A-C	高2 1-4	中1 B-C	高2 2-3
11:45-12:17	中1A B-C	中2A A-C	高2 2-3	高1 3-4	中3 A-B	高3 1-4	中3 B-C	高3 1-2
12:23-12:55	中1B A-B	H 中3 A-C	高3 2-3	高2 1-3	中2 B-C	高1 1-4	中2 A-B	高1 2-4
13:01-13:33	中3 A-C			高3 2-4	中1 B-C	高2 2-3	中1 A-C	高2 1-4
個人	グラウンド		土俵	武道館	卓球場	体育館	テニスコート	
13:40-14:45	1500m リレー		高校 相撲	中学 剣道	高校 卓球	中学 バドミントン		
14:45-15:25	クラ中							
15:25-15:45	色 R							
15:45-16:30	綱引き							
	2 日目							
	グラウンド				体育館		テニスコート	
	南側		北側		バスケ 武道館側	バスケ 校舎側	バレー グラウンド側	バレー マンション側
ミニ 道路側	ミニハンド 中央	ハンド 武道館側	サッカー					
08:30-08:40	中間式							
08:40-09:10	応援合戦							
09:15-09:20	準備体操							

09:35-10:07	中1A A-C	中2B 高2 B-C	三決	中3 A-B	高1 三決	高3 三決	高1 三決	高3 三決	
10:13-10:45	中2A A-B	H高1 三決	高3 三決	高3 三決	中3 B-C	高2 三決	中3 A-C	中1 A-B	
10:51-11:23	中1B B-C	H中3 A-B	高2 決勝	高2 三決	中2 A-C	高1 決勝	中2 B-C	高1 決勝	
11:29-12:01	中2B A-C	H高1 決勝	高3 決勝	中3 B-C	中1 A-B	バレー 準備	ドッジ 準備	高2 三決	
12:07-12:39	高1 三決			高2 決勝	高3 決勝	V高3 決勝	中学 ドッジボール		
12:45-13:17	高1 決勝			高3 決勝	高2 決勝	V高2 決勝			
個人	グラウンド	土俵	武道館	卓球場	体育館	テニスコート			
13:25-14:15	スウェーデン リレー	中学 相撲	高校 剣道	中学 卓球	高校 バドミントン	高校 ドッジボール			
14:15-14:50	色駅伝								
14:55-15:45	棒引き								
15:50-16:20	閉会式								

応援するより参加できる種目が多い方がよいと、第20回の頃から現在のように多種目を同時並行で行う形式（オリンピック形式）となった。男子だけ

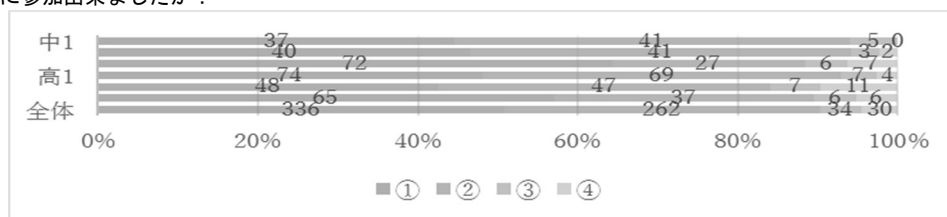
の学校であり、また体を動かすことが楽しいと感じる年ごろなので当然でもあるが、次のアンケート結果のように、生徒たちは概ね満足している。

2015年度体育祭生徒アンケート結果

（生徒体育祭実行委員会広報より抜粋。高3以外の学年で実施。コメントも委員会生徒による。）

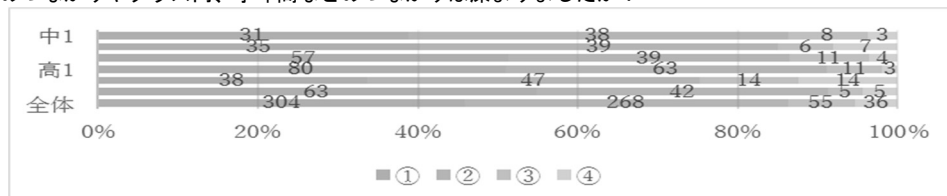
1. 今年度の体育祭について、①よくできた ②まあまあできた ③あまりできなかった ④できなかった

A. 自主的に参加出来ましたか？



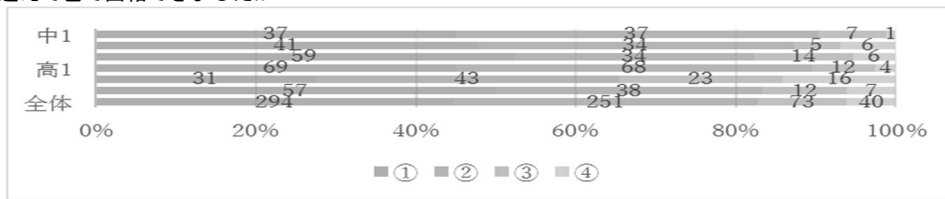
ほぼ例年通り、全ての学年において80%以上が「自主的に参加することができた」という回答になっている。

B. 友達とのつながりやクラス内、学年間などのつながりは深まりましたか？



全体では80%以上が「深まった」と答えたものの、高2が他学年より低い値であることは不安な点である。

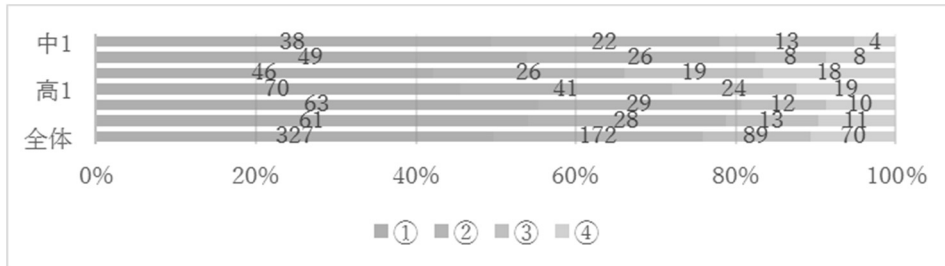
C. 学年を超えて色で団結できましたか？



全体では80%以上が「団結できた」と答えたものの、高2が他学年より明らかに低い値である。

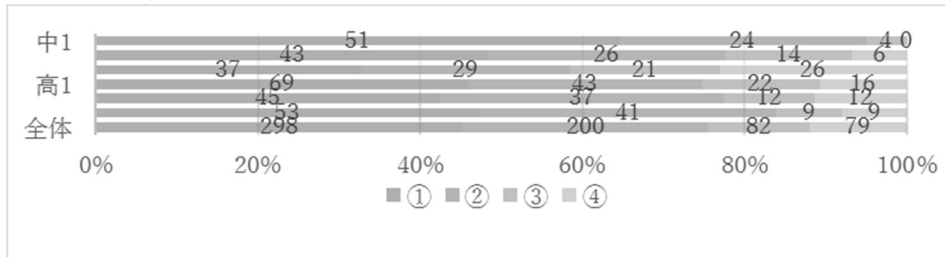
2. 今年度の体育祭運営について、①大変良かった ②良かった ③あまりよくなかった ④よくなかった

A. 大縄跳びを廃止したことについて



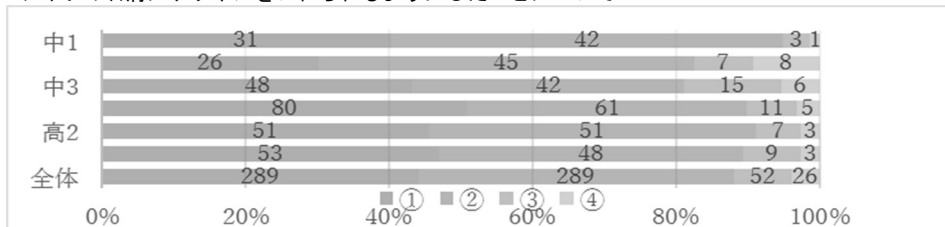
学年によってばらつきはあるものの賛成が多い。来年度についてはこれから検討していきたい。

B. ドッチボールを全体競技にしたことについて



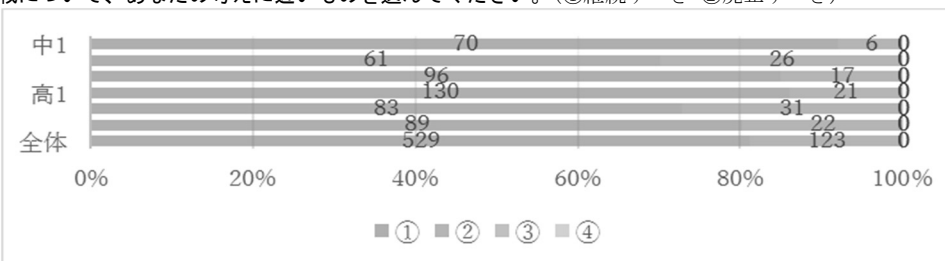
中3に際立って反対意見が多かった。体実の不幸で優勝チームを誤って表彰してしまったことも一因としてあげられると思われる。来年度の運営に生かしていきたい。

C. クラスTシャツの右肩にデザインをいれられるようにしたことについて



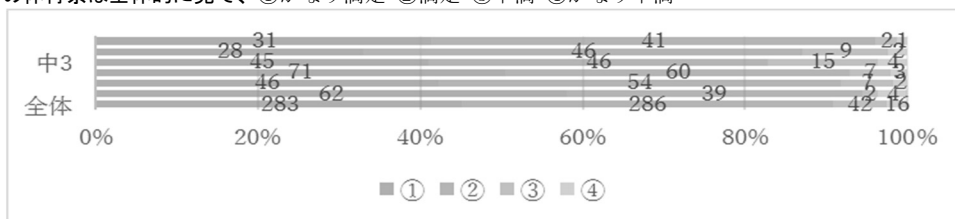
おおむね高評価だった。

3. 応援合戦について、あなたの考えに近いものを選んでください。(①継続すべき ②廃止すべき)



賛成意見の方が多くもの昨年度よりも反対が増えている。何かしらの改善をするべきかもしれない。

1 1. 今年の体育祭は全体的に見て、①かなり満足 ②満足 ③不満 ④かなり不満



全体の約9割からの①②の評価を得た。今年の体育祭も成功だったといえる。

練習について、以前は勝利を目指して自主的に行ったり、部活との調整を兼ねて実行委員会が日程を設定したりしていたが、現在は体育の授業で全面的にバックアップしている。また、技術などは向上しているが全体的に体力や集中力が高まっているとはいえ、ケガ防止も考えて近年は昼休みを設定して

いる。前日の応援練習を含めて騒音に対する近隣からの苦情も多い。平日に実施しているのだが、近年保護者の参観が増加し、保護者対応も必要になってきた。以下は、2016年度の実施状況及び教員アンケートなどを踏まえて、担当者（生徒部体育行事係）がまとめたものである。

2016年度体育祭教員アンケートまとめ（ゴチックは生徒部体育行事係）

I. 事前準備および当日までの生徒の取り組みについて

(1) 体実の活動や広報、手続きの手順やスケジュールについて

・中学3年生は3回目の体育祭でこれまでよりスムーズに、講習会やクラスTシャツ、ナンバーカード縫い付けなどできていたと思う。

・広報による連絡や集会での呼びかけも効果ありだったと思う。（中3担任）

・今年の体実は、例年に負けず劣らず頑張っていた印象です。（音楽・昇降口の掃除担当）

・選手選考にもう少し余裕があると、助かります。その際、IIの(8)にも書きましたが、中学1年生に対して、競技説明の簡易版みたいなもの（走る距離がわかるような）があると、選手選考の際に、助かると思いました。（中1担任）

高2体実生徒の仕事ぶりを見ていて、「ワンオペ」化が進んでいる印象を受けました。併せて年間の活動予定も考え直す時期に来ていると感じていますが、生徒の方が動きがとれない状況のようです。

(2) 生徒が取り組む姿勢について

・中学3年生の応援団が下級生に指示をできるか心配でしたが、応援合戦の様子を見る限り例年通り取り組んだのかと思います。応援合戦の朝練をしていましたが、無理なく1、2年生に伝え集合させていたのか心配です。（中3担任）

・運動部はもちろん、生徒全体で盛り上がっていたと感じました。（音楽・昇降口の掃除担当）

・大縄跳びをよく練習していましたが、なかなか上手くいってなかったようです。（中1担任）

練習の状況は概ね例年通りでした。大縄とびは、苦手な生徒にとっては公開処刑の場にもなり得ますので、扱いの難しさを感じています。

(3) 担当された係での問題点について

・前日の打合せと、応援団のリハーサルが重なりました。実際は、高校のリハが遅れたので間に合いましたが。（中3担任・中学応援団顧問）

応援団のリハーサルは、長年のあいだ競技1日目終了後に実施していましたが、現在では前日に実施しています。時間の調整は必要だと感じています。

(4) 体育の授業での体育祭練習について（特に保健体育科）

・9月序盤は気温が高く、水泳の授業が多くなり、体育祭練習はできませんでした。雨の天気が続き、気温が下がり水泳の授業から体育祭練習へ移行しましたが、体育祭練習は屋内が多く練習できた種目は偏りができました。例えば中3のサッカー出場生徒は雨のためサッカーの練習が1回しかできていません。（中3担任）

(5) 昼休み・放課後の自主練習について

・自主練習は体育祭直前でしか見られませんが、もし増えるとしたら生徒も顧問をする担任も負担が大きすぎるかと思っています。しかし運動不足で体育祭に臨む生徒は怪我や体調不良が心配なので適度に自主練習に取り組んでほしい。（中3担任）

体実は朝7:30からの時間枠を設けようとしたのですが、生徒の健康面(教員の勤務時間も)から認めませんでした。昼休み・放課後については運動クラブ委員会を招集して可能な範囲で枠を設けました。

(6) 土曜日の体育祭練習について(特に中高の担任の先生方)

・実施できたことでルールの確認や全体種目のイメージをもつことができ、良かったと思います。団長が作戦を立てて試す機会になっているので体育祭を盛り上げるには重要だと思う。(中3担任)

・今年は2回あり、しっかりと練習できてよかったです。(中3担任・中学応援団顧問)

・保健室巡回のことで行き届かず申し訳ありません。(高3担任)

・体育祭を知らない中学1年生にとっては、団体競技を知る唯一の機会であり、必須だと思います。と同時に、棒引きの審判については、前年と比べて厳しくなっている判定を教員が知る機会でもあって、こちらにとっても、土曜日の体育祭練習は必要だと感じました。(中1担任)

土曜日の体育祭練習は、体実生徒が土曜プログラムの枠をお借りして進行させていただいております。

(7) 冊子「プログラム&ルール」について

・各クラスには2冊でしたが、中学3年生では特に問題ありませんでした。(中3担任)

大会要項とルール、タイムテーブル案は同時配布が原則ですが、叶わないのが現状です。昭和の時代、各種目のルールは1学期後半から五月雨的に発行していました。ワープロ普及によって1学期に印刷原稿を作成し、2学期に冊子を配布するようになりました。やがて校内で印刷するようになり、原稿の仕上がりが遅れるようになって現在に至っています。次期体実に同時配布の話をしたところ、かなり困った表情になりました。スケジュールの見直しは生徒にとってはかなりの負担のようです。

II. 体育祭当日の運営および生徒の取り組みについて

(1) 当日の集合時刻について

・よいと思います。(音楽・昇降口の掃除担当)

(2) 体育祭実行委員の運営方法について

・しっかりできていました。ただ、1日目の時間が大幅に伸びたので、プログラムの余裕時間を見直す必要がありそうです。

・いつものことながら、閉会式で点数集計の時間かせぎに、忘れ物発表会をするのは、だらだらとしすぎて、好きではありません。一度休憩として片付けなどさせ、30分後くらいに集合させてもよいと思います。(中3担任・中学応援団顧問)

・当日の体実の事務連絡などの全体への指示が、わかりやすくとても良かったですね。(音楽・昇降口の掃除担当)

駅伝の開始が遅れたので、以後のタイムテーブルを遅らせる結果となりました。駅伝出発が遅れる原因は、相撲や剣道の終了を待つ必要があるからで、今のところ、連続する時間枠でのエントリーを制限するしか予防策はありません。

競技を公正に進行させようとするあまり、ルールにこだわる傾向が出ています。体実生徒が一所懸命に取り組む姿勢はわかるが、自分目線になってしまい、余裕のなさも感じます。

(3) 生徒が取り組む姿勢や応援について

・体育祭に積極的な生徒と消極的な生徒が両方いますがそれが現実だと思います。担任をしていると生徒にとっては競技がプレッシャーになっているように感じました。(教員綱引きもプレッシャーがかかるのでもう少し余裕の勝負にしてほしいです。我々が怪我しそう。)プレッシャーからか体育祭の直前の怪我が増えるように思います。他の行事に比べ身体がぶつかり合って勝ち負けが決まるので、試合に負けたときのショックも大きいように感じます。あまりクラス対抗の勝負にこだわらずにお祭りとして楽しめれば良いのではないかと思います。(中3担任)

・3A生徒がカギを壊し、中3生徒が校舎に侵入してご迷惑をおかけしました。指導不十分でした。ごめんなさい!(中3担任・中学応援団顧問)

教員綱引きについては、体実は自分たちが勝つまでやりました。綱引きは負けた時の方が体に与えるダメージが大きいので、次年度は要注意です。

(4) 担当された係での問題点について

・中学3年生の生徒が教室に入り込み、ご迷惑をおかけしました。(中3担任)

・朝の点呼では、名表を体実に渡すという手順をよく理解しておらず、遅くなって申し訳ありませんでした。1日目はHRで点呼した後、生徒を外に行かせ、最後に担任が出たのでグラウンドに出遅れてしまいました。(高3担任)

・特に問題というほどのことはありませんが、Tシャツ大賞の投票用紙に2年連続で間違いがあったようです(今年は1クラスぶんが間違っていて記載されていました) (受付)

出欠点呼は担任の先生方だけでなく、クラスの体実生徒が名表に記入して本部に集めることになっています。

(5) 応援合戦について

・中学生は流行の音楽やダンスをよく見つけてくるものだと感じました。(中3担任)

・中3の応援団が団長中心に、下級生をとともに応援合戦をするのですが、思ったよりしっかりと練習できていたようです。学年をまたいでの交流としても、この企画は意義がありそうです。当日の内容は、例年通りでした。あまり、品が悪くならずほっとしています。(中3担任・中学応援団顧問)

・高校が色別でなく全体で合同だと、和気あいあいとしているけれど、少し物足りないかな。(音楽・昇降口の掃除担当)

・応援合戦を撮影する教員が、最前列で立って行っているのはいかがかと思いました。(中1担任)

(6) 近隣への配慮について(放送等)

・相模は土俵が近隣の民家に近いので、要注意です。(音楽・昇降口の掃除担当)

近隣には案内(挨拶)文を配布していますが、どういった配慮が必要かも考えておく必要があります。

(7) 不審者への対応について(受付・警備の業務、あわせて校舎の施錠についても)

・受付警備の開錠について、「16:30 開」の係生徒は綱引きや棒引きに出ているため、ここは教員だけで開錠すれば良いと思う。

・校舎施錠について、3AHR 後方のガラス扉の鍵が破損していて施錠できず、生徒が入り込んでいました。

・校舎施錠の時間帯や施錠の意味を、体実から生徒にもう

少し説明する機会があっても良いのではないかと。(受付・警備・清掃)

施錠の目的は、行事への全員参加と盗難の防止ですが、各クラスで担任の先生方から説明していただきたいと思います。16:30 開錠の件は教員だけでできそうです。

(8) 体育祭のルール・行動予定の理解について(特に中学1年生担任の先生方へ)

・選手選考にあたり、選手名を記入する用紙が配られ、それを見て中学1年体実は選手を決めていこうとしましたが、特に、陸上競技については、タイトルと人数だけを見て選手選考をしようとしたところ、その競技の違いが判らず、特に、タイトルが長いと記入用紙のタイトルが途中で切れていたため、勘違いして募集していました。(1500m リレーを一人ずつ1500m走ると勘違いしていました。)できれば、中学1年生だけでも、各競技の簡単な内容紹介(のちに出る「プログラム&ルール」とは別に)を、記入用紙と一緒に渡してあげてことを要望します。(中1担任)

体実内での伝達が不十分だったようです。上級生による説明の時間を設けてはとも考えています。

(9) 救急体制について。特に生徒負傷時の対応など。

・本部当番割り当てがなかったため、途中でテントががらがらの時がありました。また、初日はそこに保護者が大勢入っており、中には仕事(?)をしている父親も?(音楽・昇降口の掃除担当)

(10) 保護者への対応について

・ハイヒールでグラウンドへ入る保護者がちょっと気になりました。(受付・警備・清掃)

・中学1年生の保護者の応援が激しく、途中で会場を出てしまいました。事前に、注意しておけば良かったと反省しています。(中1担任)

剣道の会場を体育館に移すことで、武道館の混雑状況を改善しようと検討を進めましたが、団体種目終了後に会場を準備する時間が足りないため断念しました。

(11) その他、お気づきになった点

・3C 体育祭Tシャツに、3ヶ所も誤植がありました。原稿の提出遅れなど、生徒にも非がありますが、Tシャツを印刷する業者のプロ意識にも期待したいところです。体実の対応は、

規則どおりだったようです。(中3担任・中学応援団顧問)

・体育祭の翌日、10/1 に特別班活動を行いました。6号館のトイレの張り紙や、3号館と5号館の間の鍵のテープ止めなど、片付け忘れ?と思えるところがいくつかありました。(高3担任)

Ⅲ. 次年度以降の体育祭について

・クラ中や色駅伝の前に「準備時間」をタイムテーブルに明記して、時間通りに進行させる意識へ変えられないかと思えます。(受付・警備・清掃)

2.3 文化祭

本校最大の行事である文化祭は 3 日間の一般公開 11 月初めに実施する。2016 年度は次の様に 10 月末と準備及び後片付けを合わせた 5 日間をかけて概ね に実施した。

10 月 26 日 (水)	器材移動日 (通常授業) 15:00 H.R. 集合、通常清掃、一般器材(机・椅子等)の行き先別整理 15:30 机・椅子・教卓移動 16:00 教壇移動 16:30 特殊器材移動 17:00 暗幕配布[文実倉庫]、砂袋配布[砂場]、スポットライト配布[スタジオ] 17:30 コードリール配布[文実倉庫] 中学校：作業停止 18:00 下校完了 18:30 高校：作業停止 19:00 下校完了 19:30
10 月 27 日 (木)	全日準備 8:30 全校集会 [体育館] 9:00 全校清掃 10:00 カラーコーン・コーンバー配布 [文実倉庫] 15:00 出欠点呼 中学校：作業停止 18:00 下校完了 18:30 高校：作業停止 19:00 下校完了 19:30
10 月 28 日 (金)	文化祭初日 8:30 全校集会 [体育館] 9:00 全校清掃 9:30 文化祭 (~16:30) 16:45 出欠点呼 17:00 下校
10 月 29 日 (土)	文化祭中日 8:30 全校集会 [体育館] 9:00 全校清掃 9:30 文化祭 (~16:00) 16:15 出欠点呼 16:30 中学生下校 (中夜祭を観覧する中3生徒以外) 18:30 中夜祭終了 (観覧した中3生徒下校) 19:00 高校生下校
10 月 30 日 (日)	文化祭最終日 8:30 全校集会 [体育館] 9:00 全校清掃 9:30 文化祭 (~16:30) 16:45 出欠点呼 [体育館] 17:00 閉会式 [体育館] (~18:00) 18:30 下校
10 月 31 日	後片付け 8:30 全校集会 [体育館] 9:00 一般器材の行き先別整理、暗幕・コードリール返却 [文実倉庫]

(月)	9:30 教壇移動
	10:00 スポットライト返却 [スタジオ]、カラーコーン・コーンバー [ボイラー室前]
	10:30 机・椅子・教卓移動、特殊器材返却、パネル・人形立て回収 [ボイラー室前]
	11:30 砂袋返却、中古木材回収 [ボイラー室前] 後片付け終了後、H.R. を行い下校
	17:00 器材返却、中古木材回収終了
	18:00 高3・文実生徒完全下校

参加団体は申込制であるが、中1から高2までは学級単位で全クラスが参加する。近年は中1と中2は展示、中3以上は演劇での参加が多い。高3はクラスを解体して特別班として、来場者への接待を行う。今年はお祭り広場班（ステージ、食品、縁日）、喫茶班、コント班、演劇班が作られた。この班分けは前年の文化祭直後から始まり、各班とも1年間かけて準備する。文化祭の高3の様子を見て、これを

目標とする入学者も多い。しかし、来場者の増加やより良いものを作り上げようとするところからの過負担が問題となり、近年高3は夏休み中の活動を自粛している。その他、生徒自治会（生徒会）、部活動、同好会などが参加する。本年度の参加団体は次の通りである。

第65回文化祭実行委員会

文化祭教室割

2016/07/19(火)

中学 1-AHR	431 教室
中学 1-BHR	432 教室
中学 1-CHR	433 教室
中学 2-AHR	421 教室
中学 2-BHR	422 教室
中学 2-CHR	423 教室
中学 3-AHR	411 教室
中学 3-BHR	412 教室
中学 3-CHR	413 教室
高校 1-1HR	213 教室
高校 1-2HR	212 教室
高校 1-3HR	化学講義室
高校 1-4HR	214 教室
高校 2-1HR	232 教室
高校 2-2HR	222 教室
高校 2-3HR	223 教室
高校 2-4HR	224 教室
高3 縁日班	ピロティ中庭 ・211 教室
高3 喫茶班	50周年記念会館 調理実習室・金工室
高3 コント班	オープンスペース
高3 演劇班	オープンスペース
高3 食品班	朝日の広場・中庭 調理実習室・金工室

高3 ステージ班	保体講義室・中庭
中夜祭実行委員会	保体講義室・中庭
中高将棋部	231 教室
中高駒場棋院	221 教室
中学演劇部	234 教室
高校演劇部	
中高折紙研究会	233 教室
中高パーソナルコンピューター研究部	技術室
中高科学部	化学実験室
美術写真同好会	美術室
中高鉄道研究部	地理室
中高農芸部	地学室
中高語学部	地学室
中高生物部	生物実験室
中高文藝部	生物講義室
弁論同好会	生物講義室
高校自治会 役員会	講演 展示
中高パズル同好会	生物講義室
中高数学科学研究会	物理実験室
高校軽音楽同好会	物理講義室
高校漫才師団	音楽室
マジック同好会	音楽室
66期バンド	音楽室
中高音楽部	音楽室
中高筑駒 Jugglers	体育館・陶芸室
美術科展示	美術室
地理科展示	地理室
書道科展示	家庭科書道室

演劇の著作権、来場者の増加に関わる危機対応、食品販売に関わる衛生管理、騒音対策の他、高3縁日班が行っている『競り』などが問題点として例年

話題になる。2016年度の実施状況及び教員アンケートなどを踏まえて、担当者（生徒部文化行事係）がまとめた課題は次の通りである。

2016年度文化祭実施状況と課題（生徒部文化行事係）

はじめに — 近年の文化祭に関するデータ

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
日程	10/28金29土30日	11/2金3祝4日	11/2土3日4祝	11/1土2日3祝	11/1日2月3祝	10/28金29土30日
来場者数	14,750	12,996	14,234	16,307	16,035	13,129
ゴミ処理	72m ³ 39万円	44m ³ 24万円	58m ³ 31万円	52m ³ 35万円	40m ³ 27万円	40m ³ 26万円

- ⇒次の2点について検討したい
- (1) 今年度の高3特別班での改善点・問題点
 - (2) 文化祭日程に関する今後の方針

①縁日班の「競り」について

◇昨年度までの経緯と実態

- ・高額商品が取引され、毎年監査で問題が生じるなど、「競り」を一定問題視しながらも、特にテコ入れをせず継続。
- ・昨年度、縁日班による「古物取り扱いガイドライン」（利益目的の参加禁止、回収時の保護者同意書、予想落札価格1万円以内の物品のみ、班員のツケ売り禁止）が策定され、ガイドラインに沿った健全な運営ができた。

◇今年度の変更点

- ・係としては、「中学生が競り・古本出品で中古物品販売できてしまうこと」に法的な問題を感じ、競りを返金額0%のチャリティーオークションにできないか縁日班に検討させた。話し合った結果、「中学生からの物品や本の出品は受け付けず、中学保護者が古本を出品する形」に落ち着き、高校生と中学保護者からの出品で今年度は実施。
- ・今年度も物品は少なかったが、昨年とあまり変わらない様子で運営できた模様。

②食品班・縁日班駄菓子部門とチケットについて

◇昨年度までの状況

- ・メニューが「駄菓子」を含め作業工程が複雑で調

理時間がかかり、生徒心身の負担や衛生面のリスクも大きかった。

- ・昨年度、6号館前給排水整備とシンク購入により、カレー（ご飯もの）類、ゆでめん類を作る設備の基準をクリア。
- ・閉場ギリギリまで提供するのではなく、早めに売り切って終わる方針へ転換。ただし全体の食品提供数が減り、当日は例年と変わらぬ大行列ができてしまい、チケットが売れず、採算が取れなかった。

◇今年度の変更点

- ・縁日班「駄菓子部門」の復活、チケットの値上げ、チケット事前販売を実施。
- ・販売ドリンクをペットボトル化、メニュー作業工程の工夫による驚異的な回転率で行列がほとんどでなくなった。
- ・チケット売上が大幅に増加し、器材補填後の最終的な余剰金は、約20万円の黒字となった。

③喫茶・演劇・コント班の行列について

・例年、数時間待ちの大行列が常態化してしまっている。文実で整理券導入を検討したが、合意が取れず断念した。

◇今年度の変更点

・喫茶は、調理室を使わないメニュー、テイクアウト実施など様々な試みの結果、待ち時間が大幅短縮された。

・文実が、例年の喫茶・演コンの大行列に新たにテイクアウト列が加わることを想定し、50周年前を行列専用レーンに分けたが、客の少ない時も一方通行となり融通が利かず、不評であった。

④来場者数と文化祭日程について

・初日が平日だと、余裕のある文化祭スタートになる。初日一般公開の是非については、保護者を含めた親族来場が多いことを考えると「一般」の

境目があいまいになり、かえって混乱や土日の混雑を招くおそれがある。

・内規の「11/3 近辺」を、「10月下旬の金・土・日」に変更することは、来年度にでも実施可能。

・だが現在の生徒負担の増大を根本的に解決するためには、文化祭も含めた行事日程全体の見直しを検討すべきではないかと考える。文化祭日程を早めることについて、生徒も含め一緒に議論していく必要があるのでは？

※2020年度実施予定の「大学入学希望者学力評価テスト(仮)」には記述問題も想定しており、現行のセンター試験よりも実施日程が前倒しになる可能性は高い。

※2017年度初頭には、新テストの実施時期などが策定・公表される見通し

第65回文化祭アンケート結果 *回収17名、うち担任8名、担任外9名

1 担任H.R.の取組み状況、指導を通して感じられたことなど

・クラスデコ責は人気ある役職で、入学当初に決める際は激戦でした。しかし、その後デコ責の1名が、jugler同好会に所属し、そちらに出演するための練習に没頭したため、結局、残った1名のデコ責に仕事が集中してしまいました。役を決める際の覚悟をもっと徹底すべきでした。しかし、役職にはなっていないが色々と助ける者も現れ、分担しながら、クラス全体としては、よく活動していました。【中1】

・5年前より楽でした。【中1】

・中3は、各クラス演劇だったのですが、どのクラスも比較的早くから準備を始め、大道具やキャストの練習など時間をかけて取り組んでいました。完成が間に合わなくなることもなく、計画的に準備できました。内容も、クラスごと個性が出ており、賞が取れなかったクラスも含め生徒の達成感・満足度が大きく、充実した文化祭となりました。文化部の中心として活躍する生徒も多くいましたが、そのことでトラブルになることもなく、うまく校内での仕事を分業できていたようです。【中3】

・心配していたとおり、映画製作はクラスでの一体感が得られにくい、進捗状況が見えにくい、一部の生徒に負担が

集中する、などの状況であった。その一方で、文実の仕事などで文化祭当日にキャストのできない生徒が意欲的にデコに参加する等のメリットもあった。これらの反省点(メリットとデメリット)は学級で確認・共有できた。【高1】

・メインコンテンツが動画で、進捗状況が全体とシェアしづらく、デコ責、編集班への負担が大きかった。【高2】
・縁日班は班への帰属意識がほとんどなく、部門への関心しかなかった。顧問がオタクにはなれなかった。ステージ班は自ら動けず、指示待ちが多かった。【高3縁日班・ステージ班】

・体がひとつでは足りませんでした。食品班にかかりきりになり、他の団体のことは他の先生におすがりしてしまいました。関係の先生方、ありがとうございました。活動の規模や負う責任が大きいため、否が応でも仲間と協力し、互いに配慮しないと出来ない活動だった。生徒にはかけがえのない学習の機会になったと思う。昨年・一昨年と較べると、今年の文化祭は来場者が少なかったため、本番も生徒の心身の負担が多くなく、適宜休憩を取りながら、良い集中力を維持しつつ作業出来た。文化祭後は、生徒が思い思いに「総括」を書き、食品班Dropboxに残している。総括というのは後輩に向けて書くものらしいが、65期生もク

ラウド上で互いの書いたものを読み合い、反省や振り返りをしているようである。【高3食品班】

2 顧問団体の取組み状況、指導を通して感じられたことなど

・音楽室の使用状況で、下足禁止の徹底、教室の窓開け禁止など、音楽科との取り決めが一部守られていなかった。また、当日に公演予定時間外に文実に許可を得たからといって、顧問不在の状況で音出し練習をしていたトラブルがあった（顧問が発見）。ルールを徹底させることができず、顧問として力不足を感じている。一方で文実生徒も計画外の行動を当日、安易に許可しないよう（電力の問い合わせは当然演奏を前提としているものであると察せられる）お願いしたい。【高1バンド】

・将棋部では教員への残留に関する事前連絡が全くなかった。（分担するから伝えてと言っても来なかった）【将棋部】

・練習で全員がそろったのが1回だけだった。メンバー全員で作品を作る気持ちが低く指導する気持ちが失せた。【音楽部】

・今年は、研究に取り組み成果を出している生徒が多かったので、部誌・展示内容は充実したものとなりました。一方、顧問が高3特別班と高2団体、中3演劇担当だったこともあり指導が行き届かず、準備の優先順位がつけられず、初日の開場が遅れました。【科学部】

・4月当初から計画的に作業を進めていた。文実も進捗状況を逐一報告に来ていたため、全体を把握しやすかった。【装飾】

・こちらの指導不足で、顧問への連絡無く文化祭当日の朝6時30分くらいから活動をしていたようで、他団体顧問の先生にご迷惑おかけしました。今回の制作物が例年になく規模の大きいもので、地理室の後部を7月の頭から占拠してしまう状況になってしまいました。来年度も同じようなことにならないよう指導を徹底していきたいと考えています。【鉄研】

・小さく無難にまとまった感じですが、何をやらかすかわからない危うさは感じないものの、視野は広がっていない。【中夜祭】

・部員は人数の少ない中で、頑張っていた。【文藝部】

3 日程に関して(参加申し込み締め切りや、当日の日程、開場・閉場時間などすべて含めて)

・文化祭終了についてですが、終了の放送がある前(15分

ぐらい前)から、教室で展示を見ている来場者に対して、文実が退出を促す行為が見られました。16:30などは終了時刻ではなく、閉場時刻だったのですね。気付かなくて、製作物をつくっている来場者を途中で帰すことになってしまいました。【中1】

・締め切りをいろいろ守れず、すみませんでした。【中1】
・平日スタートは、余裕を持てて良かったと思う。【総務部】

・平日が一日でもあると余裕ができていいと思いました。昨年度もここに書きましたが、平日の開場時間は少し遅くても問題ないと思いました。例えば、平日は一般公開しない、という方法も検討することで、ある程度の規模の縮小が図れるのではないのでしょうか。【教務部】

・数日ではありますが、やはり開催が早かった。【高3】
・今年は当日、顧問が化学実験室にいられない時間帯が長くなったので、講師(教務補佐員)の先生に2日間、演示実験などの監督を依頼しました。生徒の活動は保障したいですが、演示実験では今年のように予想外の事故の危険性もあり、顧問以外のお手すきの先生に助けていただくなどのしくみも必要と感じました。【科学部】

4 部屋割り・固定教室、各教室の使用状況について

・音楽室について、①教壇の出し入れ、設置などで雑な扱いが多々見られた。②白カーテンも連絡なく外され、片づけ後も放置されたままだった。③片づけ後の忘れ物が多かった。また掃除をしてと伝えてもなかなかしてくれなかった。何回か促したがダメで最終的に怒ることになった。④文化祭中、音楽室への土足入室がとて多く目立った。開演後に案内係がおらず、後から来た人が土足入室となった様子だった。⑤3日目のバンド音量が大きく感じた。【音楽】

・HRデコであったが、映画上映に最適な環境(教室:化学講義室)を当てて頂き感謝している。【高1】

・今年は図書スペースの机を個別に借用書を出して借りたデコがあったが、当日の監査は図書スペースで例年行っており、あまり貸し出されてしまうと監査作業時に使う机が足りなくなる。【生徒部】

5 器材移動・全日準備・後片づけについて

・毎年のことですが、片付けの日のケガが多いです。解体作業やその周辺でトゲや釘に刺さる場面が多いようです。疲労や文化祭後の脱力から注意力が散漫になっていることも原因の一つと考えられます。【救護】

・片づけについて：階段装飾が外されずずっと残っている部分（団体）があります。また、よく見ると、装飾は剥がされているが、階段の角に養生テープが残っていることがあります。そのまま放置すると、粘着部分が汚く残り、校舎内の美化に関わると思います。ちゃんと剥がさなかった団体が悪いのですが、最後、原状復帰したのかをチェックするようなことを文実やSCCでしないのでしょうか？（校外学習で校外学習委員が最終日に部屋チェックをしていることをイメージしました。）【中1】

・教員に配布された「2016 一般器材移動表」と、文実器材担当が持っていた「機材移動指示書」に若干の齟齬あり。【高1】

・シールが貼ってあり、やりやすかった。【高2】
・縁日は制作物が大きかったとはいえ、ほぼリーダー不在で後片付けが終わりませんでした。ステージは余計な作業をしていたために後片付けが終わりませんでした。【高3】
・後片付けの日に売れ残りのドリンクを在校生に販売してしまい、ご迷惑をおかけしました。以後このようなことをしないよう、生徒間でも次期食品班に申し送らせています。片付け作業はスムーズに行えました。調理室返却は13：40、全作業終了は15：45でした。【高3】

・器材移動時はボイラー室前担当だったが、当日は文実が大きな声を出してリーダーシップを発揮してくれてよかったと思う。来年度さらにスムーズに運搬するには、運搬の導線を確保しておくと思われる。ボイラー室に器材を運ぶ生徒、隣の白い倉庫から器材を運ぶ喫茶班、50周年に器材を運ぶ生徒、の3種の団体が前の道を行き来するため、ボイラー室前で器材の確認をするときに、どうしても道が混んでしまう。どこでその団体を待たせるか、ということをあらかじめ想定しておくとういと感じた。【生徒部】

・校門装飾の片づけは時間ぎりぎりまでかかってしまった。解体してからのねじ抜き、くぎ抜きに多くの時間がとられた。文実も常に現場に張り付いているわけではないため、顧問が現場に張り付き、気づいた点をその場にいる文実に伝え、文実から装飾委員に指示を出してもらうようにした。あの時間内に解体作業を終わらせるためには、片付けの段取りをあらかじめ入念に文実に考えさせておくとうよかったと反省した。【生徒部】

・中古木材回収を考えれば、片付けは木材パネルや人形立ての解体から優先して始めるべき。ステージ班はいつまでも小物整理のようなことをしていてなかなかパネルを解体せず、回収を締めた後にすごく綺麗なタル木をたくさん持ってきたが全部捨てさせた。【生徒部】

6 文実生徒の活動について

① 総務（デコ指導・部屋割・渉外・防災）

・デコ指導の文実は、中学1年生に対してとてもよく面倒を見てくれました。デコ責も相談する先輩がいることで安心できていたと感じております。感謝しております。【中1】

・内装の相談に乗ってくれたり、デコ責の希望に対して柔軟な対応をしてくれたり、感謝しています。【高2】

・諸々の申請を通していただいて感謝しております。【高3】

② 広報（パンフレット・ビラ・簡易パンフ・HP・校内案内ポスター）

・2-2階段前の校内サインに矢印が逆のものがありました。【高2】

・校内案内ポスターは、壁面を掃除してから貼らないとはがれてしまうと思いました。【高3】

・6号館の書道展の案内・誘導表示が6号館周辺に（少なくとも初日朝には）一切なく、植村が6号館入り口、窓、6号館内にやつつけで掲示を作成・掲出しました。掲示がないと、とくに中2の保護者が「こんなバックヤードに入り込んでよいのだろうか」と戸惑われてしまいます。掲示がないのは今年だけのことではないので慣れてはおりますが、以前は大判プリンターで出力された掲示物が、金工室窓付近と、6号館入り口付近に掲出されていたかと思います。一般デコではありませんが、美術科・地理科展示同様に、書道科の展示も扱っていただけると嬉しく思います。文実委員には気づきにくいところかと思しますので、顧問の先生からご助言いただけると嬉しく思います。【小倉先生と同室の植村】

・書道展示は例年通り書道教室で、そのことに問題はなかったが、パンフレットを除き、案内の掲示等がなく、困惑した。文実は、少なくとも美術、地理と同様の教科科目の展示があることを忘れずに作業してほしい。【書道展示】

③ 財務（文実販売・木材販売など）

・木材購入については、最初の注文時に、中1ではどのくらい必要かが分からず、かなり少なく注文してしまったようです。そのため、パネル作りなどの作業が遅れ気味になった。【中1】

・ラシヤ紙や釘、養生テープなど急に必要になった時はかなり助かります。【高2】

・文実貸出器材をもう少し補充して欲しい。例：カナヅチ・釘抜き・パールが一体になっているもの【高3】

④ 印刷（各デコ印刷物）

・提出した原稿と違うサイズで刷り上がってきたため、裁断機で切る作業が増えてしまった。印刷する際は、デコから代表者を呼んで、印刷の大きさなどを確認した方が良いのではないのでしょうか。お金を払っているのに希望したものができていないのは、いかがなものでしょうか。【中1】

⑤ SCC（清掃・ゴミ廃棄物処理・受付）

・毎日遅くまでお疲れ様でした^^ 【高2】
・今年度はゴミ用の穴を掘らずに生ゴミも袋へ入れて捨てましたが、ゴミの量は昨年と同じでした。【生徒部】

⑥ 装飾（校門装飾・垂れ幕）

・今年度は、従来までの高さ制限（3.8m）を20cm上乘せし、4mの装飾を組み立てたが、特に問題はなかった。門柱の高さが1.9mであるために高さ制限3.8mという数値が出てきたとのことだが、4mであっても重心を低くし、風が通り抜けやすいよう工夫すれば問題ないように思う。来年度への引継ぎ事項としたい。【生徒部】

・反省点は、校門装飾が完成した後にペンキ塗りを始めてしまい、コンクリートにペンキ跡がついてしまったこと。次年度以降は基本的に校門装飾で組み立てた後はペンキを塗らないよう指導する必要があると感じた。それでもどうしても塗装が必要な場合はコンクリートに付着しないよう十分に注意する必要があると思う。【生徒部】

・作業の割には……といった印象です。作業が簡便に終わるようにと 鈴木生徒部長がボルトを打ってくださったにも関わらず、全く活かしきれていなかったのが残念です。【高3】

・強風への対策が万全かという疑問を感じました。何か違うことをやりたいんだということは伝わってきます。

【生徒部】

⑦ 審査（デコ各賞・各デコポスター）

・デコポスターがA3判になった（いつ誰が決定？）ためか、コンピュータスペースのプリンタを使用して、A3判ポスターをカラー出力するデコが見受けられました。また、パネルなどに貼る掲示資料をコンピュータスペースで大量に出力されているデコや特別班も見受けられました。論より証拠、10/24(月)6限後に補充したカラープリンタトナー（一式8万円ほど）が10/27(木)には半量以下、黒色に至ってはトナー切れとなってしまいました。デフォルト設定では「白黒」になっているのですが、ソフトウェアによっては自動的に「カラー」で出力されてしまうようです。デコによっては文実や学年から支給されたデコの予算内で出力（外注、あるいはインク代金を負担して生徒宅で）されてい

るところもあるようですので、現状のようなコンスぺでのプリンタ出力が認められますと予算の使い方に不公平が出てしまいます。どのデコ・特別班に対しても正式にコンスぺでの出力を解禁するというのも一案ではありますが、教務予算も潤沢ではありません。何らかの対応が必要だと痛感しております。

#ちなみに、今年の高3特別班会計からプリンタトナーを一式購入していただける運びとなりました。ありがとうございます【教務部】

⑧ 器材（電力関係・器材管理・タイムテーブル）

・電力が不足なのはわかりますが、公演時間以外は暗幕を使用している教室の蛍光灯まで消灯させるのは、生徒の安全確保上も問題があると感じました。真っ暗になります。スポットライトなど電力を消費する器材はありますが、あまりギリギリまで電力を供給するのはやめたほうがよいと思います。【中3】

・パンフレットのタイムテーブルについて：クラスで要求していた上演時間、その校正依頼が反映されていなかった。【高1】

・1-4 HR 演劇は当初7回とデコ責が申請していましたが、パンフレット完成時に6回になっていました。事情としては、他企画の依頼を受けた文実が6回に減らす旨を1-4のキャスト(?)に打診し、OKが取れたので6回にした模様です。担当が文実委員長に公演回数が減った経緯を話し、「今後は文実からの連絡は必ずデコ責を通してほしい」と伝えました。【高1】

⑨ 電波（ワイヤレスマイク・トランシーバー）

・文実にWi-Fi使用申請をした団体の中で、教務部に対して生徒用LANにWi-Fiアクセスポイントを接続する申請をした団体は文実本部とパ研のみでした。その他の団体の顧問に確認したところ、生徒個人契約のWi-Fiルータなどを使用して赤色LANには接続しなかったとのことでした。【教務部】

・非常に役に立ちましたが、数がもう少し必要でした。特に、ステージ班は中夜祭実行委員に応援を頼んでいるので、班長、デコ責×2、班員×2、中夜祭実行委員×3くらいは必要だと思います。【高3】

⑩ その他全般

・文化祭の2日目以降に、開始時間の徹底のためか、いきなり文実が教室にやってきて「9時30分までは教室から出ないように」と言って、ドアを閉めていったが、クラス担当がHRを行っているところに、いきなりやってきて、こちらの発言を遮って言い、なおかつ、展示会場用に作ったド

アストッパーを壊していく行為があり、とても不愉快に感じました。昨年度もこのようなことをやっていたのでしょうか。開始時間に先頭争いをさせないようにしたいのであれば、食品班の特別メニューの限定数を解消させるべきではないでしょうか。【中1】

・文実による放送の音量が大きすぎると思った。耳に痛いのはやめてほしい。【音楽部】

・手持ち看板（大きさ制限はあるようだが）、廊下への展示物配置など、かつては禁止されていたものが個別に許可されるようになった。禁止されていた頃の背景、入場者数増加などを踏まえて再度検討した方がよいと思う。【高1】

・班長会議をはじめ、この1年をとおして文実委員長・副委員長が特別班活動に要所要所で顔を出してくれたおかげで、報告連絡相談がスムーズにできました。当日は、朝日の広場の誘導、混雑対応、ゴミ処理などで大変お世話になりました。【高3】

・各部門でよくやっていたと思います。【中1】

・一般のお客さんと生徒の移送のため、西門から保健室前までタクシーが入って来るという場面が2回ありましたが、文実の生徒が（中條委員長を中心に）タクシーの誘導など、迅速に対応してくれてとても助かりましたし、すごく頼もしかったです。インカムもとても有効で、何かあった際すぐに連絡し、驚くほど迅速に対応してくれました。【救護】

・期間中は実行委員の生徒が早朝に登校しますが、本当に必要なのでしょうか。その日にしかできないことと、それまでにやってしまえばいいことの仕分けをすれば生徒の負担は軽減できるはずです。これは体育祭でも同様です。【生徒部】

7 近年の文実の取り組みについて

例：筑駒メッセ、展示団体パネルの白ダンボール、門柱装飾・校門アート、飲食物持ち込み通路増設、50周年前の一方通行、来場者アンケートなど

●50周年前の一方通行

・少し分かり難く、（今アイデアはありませんが）改善の余地がありそうです。4列は無理があるかも？ どこに並べばよいのか戸惑う。通り抜けできない、戻れない、というのも不便でした。【救護】

・緊急車両が通りにくい範囲が広がりました。【生徒部】

●筑駒メッセ

・良かったとの声を聞きましたが、文実の仕事が増えたと思いますので、今後どうするかは要検討だと思います。【生徒部】

・生徒が入試予想問題を（作成し）公表することには、教科の特性も踏まえて慎重に対応した方がよいと思う。【高1】

・発表内容の差が激しかったように思いました。また、掲示するならば、アピールタイムを決めて、発表者がその場において説明させるようにした方がよいと思いました。【中1】

・おもしろい取り組みだと思います。若葉会の戸井会長も面白がっていらっしゃいました。ただ、掲示方法（突っ張り棒による支柱作成）については、一般デコとの整合性を取るためにも検討が必要かと思えます。【教務部】

・とてもいい取り組みだと思います。ただ、ポスターの印刷など、生徒が教員に頼む部分の線引きをはっきりすべきだと思います。【教務部】

・企画としてはとても面白く、生徒の個性がうかがえて個人的に好きでした。しかし一方で、確実に文実の仕事が増えますよね。いったん拡大すると生徒の気持ちとしてはなかなか縮小することは難しく、どこかで教員がストップをかける必要があるのではないかとも思いました。【総務部】

・面白い取り組みだと思います。団体の枠に入ることができないでいた生徒にとっては格好の機会です。今どきの生徒の群れ方に合っているという気がします。【生徒部】

・筑駒メッセの「ハミ出たもの」という表現が良かった。学習活動以外で、色々なものに興味を持っていることが分かって良かった。【高2】

・筑駒メッセ、すごく良かったです。掲示の仕方が少しお粗末な感（ゆがみ・傾き・剥がれ等）はありましたが、デコとしての発表の場はないけれど、個人や小団体での取り組みや研究を表現できる素敵な空間であったと思います。筑駒生らしさがとても出ていました。今後はもっと宣伝して、ぜひ続けていってほしいです。【救護】

・個人的には筑駒メッセが筑駒生のディープな側面を十分に引き出しているように感じて面白かった。【生徒部】

●その他

・展示パネルは、ふつうのダンボールよりは白ダンボールのほうがきれいですね。現中2でやっていた方式（フィルム付き多機能粘着パネル「ハレトレ」を使う）を文実推奨にするかどうか検討されてもよいのではないのでしょうか。【総務部】

・ハレトレは中学生が使うと破損も多く、繰り返し使えない。片付けることを学ぶ上でも、木作業をする方が教育的ではないか。【生徒部】

・飲食物持ち込み通路は、50周年会館からお祭り広場への導線が確保されてとても有用だったと思う。昨年度まであの

通路がなかったと思うと不便だなと感じました。【生徒部】
・いろいろと工夫されていてよいと思いますが、文実の仕事が多くなりすぎていて心配です。【中3】

・中学生のチーズトースト持込みを何回か見かけ、文実と喫茶班班長に連絡しておきました。相変わらず下履きの在校生を多数見ました。【高3】

8 文実が作成した書類について(文実広報、準備要綱(赤本)、著作権冊子、防災マニュアルなど)

・文実広報の時刻と教員用資料の時刻が合っていない部分があり混乱しました。例えば、2日目の出欠点呼と中学生下校の時刻は、教員用進行表ではそれぞれ16:15と16:30とありましたが、広報では点呼が16:00で、下校時刻は記載されていませんでした。【中1】

・震災時対応マニュアルは、この数年でとても良くなっていると思います。ただ、それがどのくらい生徒および教員に理解・浸透するかが今後の課題かと思いました。【総務部】

・震災時対応マニュアルは、かなり詳細に作成者と話をしましたが、読みにくいです。情報量が多すぎて、緊急時用とは思えません。【高3】

・震災時対応マニュアルのあの情報量の多さと文字の多さは、非常時のマニュアルとして機能しない(重要なところが埋もれてしまう、そもそも読む意欲を失う)と思うのですが、どうでしょう…。【総務部】

9 文化行事係の活動について

・食品班長が元文実委員だったのもあって、ずいぶん生徒がご指導を仰ぎに(またはワガママを言いに行)ったのではないかと思います。本当にお世話になりました。【高3】

・大きな混乱も見られず、無事会期が終えられたように、とても良かったと感謝しています。【総務部】

10 特別残留期間の残留状況、早朝準備について

・残る者、早朝にくる者は固定化されていた。【高2】

・食品班は、文化祭当日3日間以外は、特残の下校時間を守りました。当日は、6時集合・全体解散21時(班長デコ責衛生下校22時すぎ)でした。早番遅番に分けず、皆この時間でした。総班員が多くないため、人手の分散を避ける方法にしました。【高3】

・特別残留に関しては、複数の目が行き届いているためか、活動場所を変えているためか概ね守られていたと思いますが、早朝に関しては「顧問がいない団体の活動は認められない」というルールを無視している団体が多いと思いま

した。縁日班でも私の出勤前から活動している日があり、きつく叱りましたが、片付けの日の早朝6:30頃から鉄研がガンガン音を立てて活動をしていました。鉄研の生徒曰く「顧問の先生には連絡しました…」との事でしたが、顧問の三井田先生は何も聞いていませんでした。化学講義室は高1の活動場所でしたが、顧問の先生が出勤されるまでは何があっても解錠しないという方針だったので、イレギュラーな時間に登校してきた生徒が手持無沙汰でしたが(化学に解錠を依頼してきました)、あれくらいのきちんと姿勢で顧問は対応すべきだと勉強になりました。【高3】

11 その他(感想、ご覧になったデコの印象など)

・現状の文化祭には愛着もありますが、生徒(特に高3)や教員への負担を考えると、このままの継続は望ましくないと考えるようになりました。今年は入場人員がそう多くなりすぎずほっとしましたが、生徒は常に「多くの来場者」や「昨年並みかそれ以上」を求めますし、それは心情的に理解のできることです。大学入試改革をよい契機にして、教員側が、規模縮小・生徒負担軽減に向けての話し合いに本腰を入れる必要があると思っています。【総務部】

・改めて来場者に幼い子が多いことを実感し、その子たちを対象にする展示類の充実が必要と思いました。偶然にも中1の展示には幼い子が製作するコーナーがあり、活況でした。そして、この点では、今年の高3縁日班のアトラクは、一度に大勢の子に参加してもらえて、故障もなく、とても回転よく楽しめることができたのではないのでしょうか。【中1】

・中2、高2、高3を中心に見ましたがどの学年も良かったです。特に高3はどの班も質が大変高かったと思う。【生徒部】

・中3以上の文実生徒の朝6時登校は、やり過ぎだと思います。せめて、その旨を学級担任には事前に知らせてほしい。【中3】

・文化部によっては、顧問の承諾なしに早朝から活動していたところがあるようです。ルールは、守らせるべき。【中3】

・今年は大橋えのき園のえのき祭が文化祭中にあり、机や椅子の貸し出しをしたのですが、その際高3生徒などの助力を得て無事に貸し出しを行うことができました。【総務部】

・スタジオに行くついでに、1Cデコの制作物だけ見られました。なかなか面白そうでした。【高3】

・各デコとも頑張っています。毎年のことではありますが、夢中になるあまりに通り道を塞いでしまうことが多く、工具や釘が地面に散乱しているのでケガしないか心配です。

これは生徒の日常生活の延長であり、我々の指導が不十分な部分でもあると考えています。【生徒部】

・卒業生の声です。「チケットが7枚500円から5枚500円になり、クレープがチケット2枚から3枚になったうえに味が選べないのはつらいです。」【生徒部】

・文化祭前から熱っぽい生徒が多かったと感じました。また、文化祭当日にも、熱発のため最後まで残れずに帰宅した生徒が(把握しているだけで)5名いました。疲労により免疫力が落ちているところに、天候(寒暖差等)の影響もあったと考えられます。それでも、文化祭中に早退する生徒が5名も出るのは珍しいことなので報告しておきます。【救護】

・救急車要請が1件ありました。閉会式後の胴上げで受け止めきれずに落下し、負傷しました。疲労と寝不足でテンションだけが低い状況での胴上げは注意が必要だと感じました。【救護】

・外部の方(生徒以外)の保健室利用が2件ありました。共に小学生で、体調を崩した児童と、デコの見学で目に異物が入った児童です。【救護】

1.2 高3特別班の活動について

・担任団は早くから遅くまでご苦労様でした。【生徒部】

・食品など、来場者数の影響+朝日の食品への誘導等の関係か、例年の混雑がなかった分、人間らしい(?)範囲での仕事になったのではないかと思います。それは、収入増の観点とは別として、過労による不慮の事故などを軽減させる上でも、良いことのように思えました。【総務部】

・調理室の使用状況は良好でありました。11/14に保存用冷凍検食の廃棄も無事終わっていました。これも執行部生徒と担任団のご努力、そして保健指導係のサポートのためものかと思えます。ご苦労様でした(準備段階では苦言を散々申し上げ、その都度改善されていたのでこれ以上は記しません)。一限の出席状況の悪さは、なんともならないのでしょうかねえ。【家庭科】

(以下、高3担任団より) **全体的に**

1 65期高3の特別班の顧問と人数構成

杉村：食品(35) 八宮：コント(28)・演劇(7)・会計
山本：喫茶(19) 吉田：縁日(42)・ステージ(30)

2 特別班別予算(詳しくは別紙参照)

3 模擬文化祭：2回(5月18日(水)、19日(木)、*20日(金)反省会)、10月1日(土)、2日(日))

・5月の第1回は64期のスタイルをとり、火曜の午前中授業、午後音楽祭練習、18、19が模擬文化祭、20日は反省会と音楽祭練

・食品班・喫茶班の試作や試食会は、準備段階では欠かせないものになってきていますが、文化祭直前の試食会の時に、焼きそばの具材として使用する豚肉が生焼きのままであったという話を耳にしました。効率ではなく、あくまで衛生を第一に考えるべきです。【生徒部】

・準備日における焼きそばの販売、片付けの日でのドリンク販売はいかがかと思えます。【生徒部】

・高3担任の動きを同室で見えていたのですが、生徒・教員ともにあまりの仕事量の多さに驚きました。高3がどれほど大変かは経験しないとわかりませんので、一度教員でそれを共有して業務の縮小を図ってもよいのではないのでしょうか。現状は、(文実や文実顧問もそうでしょうか)ブラックそのものだし、率直に言って、授業がおろそかになっていると思います。(私の高2の授業でも、文化祭前の1限は8時半に半数くらいしかおらず、とてもやりにくかったです)【総務部】

・数年前に磁石を用いた釘拾いを導入してから落ちている釘の量は激減しましたが、ピロティ、中庭の釘やごみが例年より目立ちます。年々準備が大掛かりになり、疲労困憊の中での片付けになりますが、よろしく願います。【生徒部】

・準備が大掛かりになり、生徒にも担任団にも大きな負担がかかっています。健康面でも不安はありますし、生活面では1時間目の出席状況が劣悪でした。10月に入ると8時30分の時点での出席率が5割を切りました。【生徒部】

・高3の当日朝の集会での言動が気になりました。内容的にも、ここ数年当たり前のようになっていますが、朝のあの時間での宣伝活動は必要なのかと改めて思いました。閉会式の審査集計待ちでコント班が出て来て時間を繋ぐ、というのは分からないでもないですが、最近の内容ならば、よっぽど各デコの掃除を徹底する時間に充てたほうが有意義だと感じました。【教務部】

習。いろいろと展開できてよかったが、中学2年生も校内にいるので、音楽祭の練習やOSの利用に関して、事前に打ち合わせておくべき。

・第2回は体育祭の後で、やはりなかなか日程的に厳しい。このあと、10月の8、9、10日と15、16日の週末にも中規模の練習を行ったが、明らかに疲労が見え、17日(月)放課後は一斉練習休業にした。

○予算の決定に関して：

・基本的に、預り金から前借をして文化祭後に売り上げから戻入られて、更なる利益は生徒部や寄付に回すというスタイルであったが、昨年はそれが崩れ、今年はそれにいかに対処していくかというのが大きな課題であった。昨年より人数の少ない食品班で収益を出すには、と考えると最終的にはチケットの値上げ、駄菓子部門の復活という方法を取った。ただ、ここまでの過程は、班長会議を数回開き、どの班も合意の上で、10円単位の値上げをした場合のシミュレーションをしながら、最終的に5枚500円に決定をした。1枚80円を110円にするのは、かなり冒険であったが、最終的には、これが機能した。これには、校内生徒には事前販売(2綴り、1000円)をするというのも効果的であった。

○班編成に関して：

・高2の文化祭が終了後、基本的に生徒の希望調査をして、生徒の中で文実委員を経験した生徒や班長候補の生徒が中心となり、第1次、第2次と希望のバランスを示しながら、徐々に人数を決めていく。59期の時は、コント班が多すぎてじゃんけんなどで他班に移動したということがあったが、65期の場合は、基本的に各生徒の第1希望を優先して決定した。その結果、決してバランスが取れた布陣にはならなかったが、それぞれが、押し付けられた班ではないため、最終的には最初はさぼったりお荷物的な生徒もよく働くことになった。緑日班に集結したおたく軍団の音ゲーも凝っていた。また、数の少ない演劇班もコント班とのコラボで新しい企画「演劇コント合同の演劇」を生み出した。喫茶班も人数的には苦しかったが、高1の時から喫茶班希望の生徒もおり、食事の提供を早くして回転率を上げるという目標のもと、新しい形をこれまた生み出した。これを考えると、変に人数のバランス調整をせず、生徒たちの叡智に任せる、というのが正解かもしれない。もちろん、担任団もOSを早めに確保して、全体で話し合う機会を保障してやったり、班長会議などを定期的を開いて、お互いの不具合がないかどうか確認しあうように意識はしていた。

・6年前に高3を担当していた時と、事情がだいぶ異なり、時代の要請による衛生面の安全の徹底、食品の品数の精選、などにより食品班の労働は相当に厳しいものになっており、食品班を選択する生徒は減少傾向にある。

・それでも、現状のように衛生面などの徹底をするには、今回の食品班の人数は下限であるように思われる。しかも、意識の高い

生徒が比較的多く集まったが、必ずしもそうなることが保障されているわけではない。

・かつてはお祭り広場が混むという理由で、朝日の広場に食品班が移ったが、その空いたスペースにより、緑日班のアトラクなどの活動場所が広がり、緑日班の人数は多くなる傾向にある。(かえって、全体の規模が大きくなってしまった)

○運営面に関して

・全体の運営は、お祭り広場でのチケットの売り上げに頼る面が大きい。つまりチケットの売り上げいかんで、緑日やステージの規模が決まると考えてもよい。今回は緑日のアトラクも大がかりですべてが稼働し、チケットの売り上げに相当貢献していると思われるが、やはり基本は食品がどれだけ売り上げるか、にかかっている面がある。食品班の生徒は常にそういうプレッシャーを感じている。周りの班の生徒は、それを慮らなければならない。今回、ヘルプなどに入った他班の生徒も、衛生講習などで行ったことをよく守っており、そういう点では他班の生徒も食品班の苦労を理解している面はあったと思う。

・ステージ班のPA設備や調理室の包丁、冷蔵庫など徐々に更新をしていかなければならないが、今後、利益が思うように出ないことも予想され、こういうインフラ面の更新を何らかの形で学校が保障することが大切ではないか。今回はPA設備の更新は、当初学年預り金から借金して、冷蔵庫は食品班の予算の一部から購入した。体育のミラスポンジマットの更新なども利益から行っている面がある(確かに、使用させてもらってはいるので)、収益による更新は不確定要素があると思われる。

○ヘルプ制に関して

・6年前もヘルプ制は存在し、生徒は多忙であったが、現在はヘルプ制がさらに精緻化している印象だ。班ごとにヘルプの担当者時間割を作成するが、前年度から個人票も存在している(別紙)。1日目2日目は、来場者が例年より比較的少なく、食品班など休憩を確保したが、コント班などは例年より出し物が多くヘルプが加わると、食事をとるのも厳しいほどであった。

・食品班衛生担当の作成した「ヘルプ・マニュアル」はよく出来ており、ヘルプ講習会も2度開いたが、出席率は非常に高かった(特別考査は欠席したのに、午後講習には出席していた)。本番の、衛生面のルールはよく守られたようである。

高3食品班

65期食品班、色々な先生方に大変お世話になり活動することができました。改めて御礼申し上げます。おそらく例年にたがわず、今年度の生徒も過去の期の良いところを学び、今年度の状況を考え

◎引継ぎ

2015年12月期末最終日 生徒引継ぎ：64期食品班班長・衛生係 ➡ 65期食品班班長・デコ責・衛生係・顧問

併せて、より良く活動すべく努力しました。以下、おもな活動をご報告します。

2016年4月5日 文化祭・高3特別班・衛生関係の教員引継ぎ

①主な活動日

*ゴシック体=土日祝代休 土曜○=登校日 保=保健所

月	火	水	木	金	土	日
4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17
				衛生講習会		
4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23○	4/24
					試作会①	
4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1
5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7○	5/8
					試作会②	
5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15
		保訪問				
5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21○	5/22
		模擬文①	模擬文②			
8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3○	9/4
夏休みは活動無し						

月	火	水	木	金	土	日
9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10○	9/11
						試作会
9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18
						試作会
9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24○	9/25
試作会		保案提出				試作会
9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2
		体育祭		体育祭	模擬文③	片づけ
10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9
					テント洗浄2日間	
10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15○	10/16
試作会			保本提出		試作会	
10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22○	10/23
	調理室引渡し	試作会		金工室引渡し	試作会	
10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30
放課後試作会	放課後試作会	放課後試作会	全日準備	文化祭1日目	2日目	3日目
10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	
片づけ						

・活動日について

「週1の休日を作る」を原則に活動させました。連休の9/18・19や10/8～10の活動は、「カレー班の生徒は10/8だけ登校」の

ように交代で休日を作りました。平日の活動は、週1回程度の昼休み全体会合、10月の放課後の木工（7～8人ずつ交代）

②試作会

試作会時程の例：9/25のもの

〈調理して班内で食べる、または高3他班生徒に販売〉する活動を「試作会」と呼んでいました。模擬文化祭も「試作会」と数えると、4/23から10/26までで17回行いました。昨年・一昨年は10回程度のようなので、今年の場合は多いです。これ以上多く行う必要は無いと思いますが、生徒には失敗も含めて良い練習になりました。練習に全メニューを作るのは模擬文化祭くらいで、他の日は「クレープとカレー」のように食べられる量とメニュー数を考えて計画しました。

家庭科講師の歌津先生に何度も御指導を賜り、大変お世話になりました。預り金から謝金をお渡ししました。

また、模擬文化祭を高3生徒の保護者に公開するかどうかという議論があり、今年は不可としました。これは、食品班の「お客さん役」で試作品を食べる人が必要だからという理由で「可」とするか検討されましたが、結果的に保護者来校を認めなくても高3生徒が「お客さん役」になり、食品班の練習としては十分でした。生徒は1食50円～100円で販売すると買って食べました。1食200円にすると「高い」と言ってあまり買ってくれませんでした。ということで、今後も上記の観点からは、保護者公開をする必要は無いと思われます。

08:00～08:15	器材移動
08:00～	調理室清掃・手洗い
08:00～	調理室消毒
08:15～	器材洗浄・消毒(器材移動終了次第)
08:00～08:15	机移動(211から40個)技術室から6個
08:00～08:15	テント・ガス移動
08:15～08:45	テント立て
08:45～09:45	テント下設営
10:30～	食材搬入(肉のハナマサ)
11:00～	手洗い・食材移動
	下処理Ⅰ
	下処理Ⅱ
	下処理Ⅲ
12:30～	本調理
13:00～	提供
13:30～	調理終了、食べる
14:00～	洗浄
14:00～	鉄板洗いと片付け
15:00～	運搬と6号館清掃
15:00～	調理室清掃
15:00～	机を片付ける
15:00～	テントの片付け
16:00～	撤退

*試作会前日（多くは金曜日）の放課後に使用する鍋やボウルなどの煮沸・塩素消毒を行います。煮沸もまとめて1日で出来ないかと考えましたが、下校時間までに終わらない可能性を考えて、1日に作業を詰め込みすぎるのを避けました。

③保健所関係

全部で3回、保健所の方にレシピをお見せし御助言いただきました。喫茶班のレシピと一緒に見ていただきました。

1. 5/11 (水) 食品喫茶班員 (班長・衛生) 顧問・緑日班顧問 (駄菓子担当のため) が訪問。ご挨拶と衛生上の留意事項についての質問。事前に Fax しておいたレシピ案について質疑。
2. 9/21 (水) 食品班顧問のみ訪問。本番に向けてのレシピ案が50枚以上になったため持参。数日後、電話で修正事項等をうかがう。
3. 10/13 (木) 食品喫茶班員 (班長・衛生) ・食品班顧問が訪問。本番のレシピと「模擬店開設届」提出。

【指摘されたこと】

・ごはんについて

保健所の方 (以下ホ) : 炊き上がってから2時間以上経って提供される可能性はありますか。

回答 : ありません。持ち帰りも無し、よそったまま放置することはありません。

ホ : では問題ないでしょう。保健所としては、できれば炊飯は避けていただきたいのですが調理方法や食材の扱いを点検するに問題はないです。

・カスタードクリームについて

ホ : 材料に卵が入っているのでサルモネラ菌の繁殖が心配です。提供までの温度管理はどのようにしていますか。

回答 : 使用前日に冷蔵庫解凍、調理中はクーラーボックスに入れて、定期的に温度を計り管理します。

ホ : では問題ないでしょう。保健所としては、できればカスタードクリームは・・・ (以下同文)

次年度は、ご検討ください。

④おもな仕入先

野菜・調味料 : ハナマサ三軒茶屋店 配達

肉 : みやしろ精肉店 配達

ドリンク : 朝日飲料 (校内の自動販売機納入業者) 配達

調味料など : 業務用スーパー (新宿大久保店) で生徒が買い出し

全日準備日のみレンタルトラック

ガス : 富士ガス 配達

〈通販〉

キッチンペーパー等衛生用品 : 西友倉庫館

冷凍カスタードクリーム : ロイヤルシェフ (UCC業務用食材販売)

容器 : 株式会社みやこ 株式会社ヨコタ東北

上記で手に入れられないもの : 楽天・アマゾン・LOHACO など

その他、生徒が自宅近くのスーパー、合羽橋などで調達。

⑤文化祭3日間について

右記は予定。

当日は早めに作業でき、21時に全体解散できました。

・休憩について

調理提供中はメニュー班ごとに作業スケジュールを作り活動しました。1時間に10分程度の休憩を組み込み、交代で休憩を取りました。3日目のお昼どきの2時間くらいはお客さんが多くなったので、休憩無しで全員活動になりました。

6:00	集合 下処理Ⅲ開始
6:00~8:00	下処理Ⅲ
8:00~8:30	休憩
8:30~9:00	集会
9:00~	調理開始
9:30~	提供
15:00	調理終了
15:30	提供終了
15:30~16:00	器材洗浄
16:00~16:30	休憩
16:30	食材搬入
16:30~17:00	食材確認
17:15~18:15	下処理Ⅰ
18:15~18:30	小休憩
18:30~20:30	下処理Ⅱ
20:30~21:30	器材煮沸
21:00~	ゴミ出し

	文化祭当日 提供食数									
	焼きそば	朝日ドリンク	カレー	スープ	タコス	クレープ	ポップコーン	綿あめ	中庭ドリンク	合計
1日目	671	110	602	585	664	693	196	377	117	4015
2日目	1343	495	942	759	1012	958	724	751	613	7597
3日目	1626	652	1202	1007	1174	1465	1029	1080	678	9912

⑥失敗したこと

1. 肉の加熱不十分：10/15（土）の試作会にて、試食した高3生徒より「カレーと焼きそばの肉に赤いところがある」と報告あり。現物は報告者が食べてしまったため確認できず。体調不良の申し出無し。その日のうちに歌津先生・早貸先生➡調理担当生徒、調理工程の確認・再発防止対策のご指導。週明け17日（月）に植村先生➡調理担当生徒、事実確認と以後のご指導。

⑦良かったこと

生徒が主体的に、前もって計画を立てて活動することができました。生徒の文化祭活動への意欲はさまざまです。あまり作業に来ない生徒には、班員同士でこまめに声掛けをしていました。人間関係が損なわれるようなトラブルなどは無く、和気あ

⑧改善すべきこと

もっとうまくできたら良かったと思うのは、現金と会計処理の管理でした。食品班は扱うお金が大きく、1回に支払う額も大きいです。食品班の口座に振り込まれたお金を会計係生徒が引き出してきて使いました。例えば、試作会ではハナマサに2万円、みやしろに1万円、ガス会社に2万円など、すべて校内で現金支払でした。模擬文化祭では15万円くらい使います。会計生徒が多額の現金を所持することに不安を覚えたため、相談の結果、顧問が小口として現金を預かり、立替の返金や諸処の支払の際に渡していました。振り込みの支払は会計生徒が口座から直接行いました。その結果、全支出と残高をリアルタイムで把握している人がいなくなり、直前期は困りました。また、文化祭本番は何十万単位での現金支払が何回もありました。問い合わせてみましたが、どの業者も振り込み等は不可で現金支払のみでした。みやしろは後日払にしてください。今年は、ハナマサにお願いして本番3日分を事前払いにいただきましたが、野菜の値段は仕入れ額によって毎日変動するようで、先方としては配達時に毎回現金払いの方が良さそうでした。ドリンクを仕入れたアサヒ飲料も配達時に現金支払でした。いま思うに、銀行口座のネットバンキングなどをうまく使い、こまめな残高の確認や振り込みのキャッシュレスなど工夫できることがあったかと思えます。

高3ステージ班・縁日班

・様々な方たちに支えられて高3の活動が成り立っているのだと、しみじみ感じました。「感謝しています」しか言えませんが・・・感謝です。

・中学棟（アトラク倉庫）、週番室（製作物の収納）、機械室倉庫（ピロティ照明・脚立）、高校棟（ガラクタ倉庫）、文実倉庫

2. クレープ包材の注文：10/19に生徒がインターネットサイトでクレープ包材を注文。代金を振り込んだが、未だに品物が届かない。10/27に生徒から相談を受け、顧問が当該サイトを確認したところ、メールアドレスのみで電話番号・住所等の問い合わせ先が記載されていなかった。顧問より問い合わせのメールを送っているが、未だに返信は来ない。

いあいとした雰囲気でも活動していました。また、種々の書類はDropboxを使用しました。顧問に印刷を依頼する会合資料や試作会タイムスケジュール、保健所へ提出するレシピなどの管理に便利でした。

もうひとつ、教員の指導の仕方についてです。引継ぎの段階で、「包丁・火の使用とテントを扱うときは顧問の立ち会いを原則とする」と言い、そのようにしました。すると、顧問が準備室で仕事をする時間が大幅に無くなります。6号館の立ち会いを担当団に依頼しようとしても、難しかったです。火～金曜日は誰かの研修日にあたり出校していないこと・ステージ班台上練習時はステージ顧問が立ち会う、チケット作成作業は会計担当教員が立ち会う、喫茶班の調理・テント作業時は顧問が立ち会う、ということを考えますと、6号館立ち会いを依頼できる担任団の先生はいませんでした。2学期は、国立大学推薦入試の書類作りや本校入試問題作成（国語科）など生徒に見せられない仕事も増えますので大変でした。6号館立ち会いの仕事は、食品班顧問でなくても務まります。活動は生徒主体で進めますし、「火のそばに木べらを置くな」というような常識的な指導をするだけです。というより、顧問もそのくらいしかできません。今年の顧問はエブロンと三角巾とマスクをして調理室内に座って見ているのが基本の仕事でした。そこで、改善案として、ときどきは生徒部の先生などに立ち会いをお願いする。または、文実副顧問のように前任者を副顧問にしてサポートしたらどうかと考えますが、いかがでしょうか。

（ステージ倉庫）、シャッター倉庫（食品班・喫茶班・ステージ班で共用）、ボイラー室（ステージ班・縁日班）、会計倉庫（化学講義室階段下倉庫）、スタジオ、3号館屋上（垂れ幕作業）計10ヶ所のカギの管理だけでも疲れました。

・例年、垂れ幕を固定するために配管を使用しての固定をやむな

く許可していたと思いますが、管理職・鈴木生徒部長・事務室へお願いをして3号館壁面にボルトを5ヶ所打っていただきました。床面上2mに設置していただいた3ヶ所は大変便利でした。

上部2ヶ所は若干結索の方法を考えないと辛いかもしれません（例：登攀用具のクイックドロウの利用など）。

・全日準備と片付けの日は、ピロティと中庭には複数の団体（文実、演劇・コント、縁日など）が入り乱れています。釘やコーススレッドを回収するためのツール（磁石）を使用していますが、

●ステージ班について

・班長（里正）・デコ責（伊藤大晟・魚住）・会計（杉山）を中心に指導する形式で、この3名が思っていたよりもしっかりしていたので指導に手を焼いた印象はない。班員は運動部経験者が多いためか、集団行動はとりやすい。

・夏休み前までの練習は、ほとんど練習のための練習。本気モードは9月になってから。

・全ての台本はDropbox上で確認できるようにした。が、ギリギリまで台本は仕上がらなかったのが台本印刷などが大変だった。

・怪我や外部との問題もあったが、想定範囲内。

・他学年の生徒が参加してくれることで成立する企画があるが、配慮が足りない部分があった。気をつけて指導をしたつもりではあったが、特別残留期間中に中3生を18:30過ぎまで残らせてしまったり、出演時間の関係で1年4組にはご迷惑をかけてしまった。

・垂れ幕の進捗が遅すぎたため、前日まで一切の練習・強度の確認などが出来ず困った。

・合田先生・三井田先生には色々教えて頂いて助けられた。

●縁日班について

デコ責と部門長がどれだけ動けるかが重要。デコ責（矢萩・山崎）がしっかりしていて助かった。各部門長に関してはリーダーシップをとれる者ととれない者と様々だったが、部門員のフォローシップは良かった。残念なのは、班長のリーダーシップを向上させられなかった。

・42名と多人数なためか、65期生の特性が分からないが、「班」への帰属よりも「部門」への帰属意識の方が高く、放課後の準備（工具の運びだしなど）や片付けも全員で行うという意識が低かった。この指導は徹底できなかった。全体での集団行動はほとんどない。

・モノづくりの経験不足か電動工具の使用に不慣れなためか、数名が手指を切った。小会議室のワセリンと絆創膏で応急処置を施した。

・ピロティは色々目につくために 多数の先生方に色々ご指導いただいていたと思う。

なかなか回収しきれません。あの釘回収ツールも文実の貸出し器材に入れていただきたい。

・ステージ班は、文実と中夜祭実行委員会に助けられて事故を未然に防いでいると実感しました。

・中夜祭での照明トラブル（プレーカー落ち）に対する内田君（高2文実）達の対応は素晴らしかった。

・喫茶班と食品班の緊急車両対応を確認していませんでしたが、文実や高3特別班がどのように考えていたのか知りたい。

・模擬文化祭や練習の時に、64期を中心にO.B. が何人も来てくれてアドバイスをしてくれたのが良かった。

・武道館裏を利用することがあるが、状況確認をしておかないとひどい時がある。

・ミス駒の化粧指導には学年の保護者だけで行う予定が、63期の保護者まで参加していたのは正直迷惑だった（生徒からの連絡不足が原因）。

・ミスター・ミス駒の時には、お客様の安全確保などで文実・中夜に大変お世話になった。

・台本の印刷方法について小佐野先生には大変お世話になった。

・体育祭（の応援団）で披露できなかったネタを、「ステージ班です」と名乗って、ちっとも面白くないモノを時間のない月曜日の集会で披露して響きを買った。

・校長先生と阪田先生、ゴードン先生に（師弟対決に）ご参加いただいたのはとても嬉しかった。特に、校長先生との対決はなかなか出来ない企画なので感謝している。

・ガラクタ・古本の販売方法に関しては、宇田川先生にご指導いただいた。

・法被を着るのには勇気がある。班員としては顧問には着て欲しかったらしい。

・綿菓子とポップコーンの機械は、世田谷区船橋公文書庫から無料で借りられて便利。電気代はかからず材料費も安価なので利益率は高い。運搬方法がネック。

・ガラクタ・古本部門は、返品・返金で文化祭終了後も なんだかんだと大変。特に中学担任団にはご迷惑をお掛けした。

・バズーカ（玉入れ）や音ゲーのように複数人数で同時に遊べるアトラクは良かった。

・音楽ゲーム（通称 音ゲー）はプログラム作成のためにコンスペを利用するが、高橋先生からご指摘を頂くまで利用簿があることを失念していた。

・コンスペのプリンタ使用に関するレギュレーションの認識不足

で、カラー印刷を大量にしてしまっただけで情報科には大変ご迷惑をお掛けした。

・班員にビーナッツアレルギーの生徒がいたために、景品のお菓

高3喫茶班

・19人という人数は大きな制約となったが、非常に意欲的な生徒が多く、過去の取り組みを継承するだけでなく改革しようとする活力があった。

・店名「VIA=～を経て、中継して」のとおり、「デコとデコの架け橋となる喫茶」(⇔並び時間で半日つぶれる喫茶)をコンセプトに、様々な取り組みをした。

・次のような実績や新たな取り組みがあった。

①待ち時間の大幅な短縮

…例年3時間待ちの行列ができる原因を分析し、「料理の提供スピードがテーブル内で大きく違うため、特にグループ客の滞在時間が長くなり、回転率が悪くなる」という部分の改善をはかった。また、提供メニューも、本格レストラン風ではなく、喫茶店風にしたため、1人あたりの食事時間も短縮された。結果として最も混雑した3日目においても、列に並び始めてから食事を終えて店を出るまで1時間以内という回転率であった。

②ウェイターの廃止・スタバ形式のオペレーション

…料理を全て受け取ってから着席してもらうシステムにし、料理ウェイターを廃止した。ただし、待機列で注文を取る係、着席の案内をする係、会計をする係などは1人1役をあてた。このようなシステムを採ったのには人員不足という背景もあるが、上述の「提供時間の均一化」というねらいもあった。結果的に、回転率の大幅な向上に役立った。

③テイクアウトの導入

…チーズトーストとドリンク数種をテイクアウトメニューとして用意した。テイクアウト列はイートイン列と完全に別にし、会計や提供場所も分けた。店内でチーズトーストの注文があまり入らなかったこともあり、限られた人数でまわすことはでき、売り上げにも貢献した。一方で、テイクアウト商品を受け取った人がコントの列に紛れ込んだり、校内で手をもって食べている生徒がいたり、と多少の混乱は生じた。文実に大いに助けられ、全体としては3日間機能していたように思われる。

④調理室の完全不使用

…例年喫茶班は調理室の一角で下調理を行ってから50周年に運搬しているが、今年は全ての工程を50周年内で完結させた。理由は人員不足である。テント下では鉄板と鍋、50周年ギャラリーでは電子レンジと電気ポットを主な調理器具

子の選定が微妙だった。

・顧問に無断で、早朝5:30頃から登校していた馬鹿がいた。 ・基本的にコミュニケーション能力不足。

とした。そのため、電力事情は例年以上に難しく、若葉会事務局と調整しつつ、入念な下調べを行った(そもそも50周年内の電源系統について確実な資料がなく、実際にレンジをつないでみて、プレーカーが落ちるポイントを試していった)。また、シンク不足も問題となったが、調理工程上なんとか乗り切れるメニューだったため、テント下1つ(器材洗浄用)と50周年内ギャラリー1つ(手洗い用)のみで進めた。

⑤「筑駒クッキー」の販売

…プリントクッキーを作る業者に依頼した。予想以上のたいへんな売れ行きで、1人で20個、30個と買い上げる方もおり、1時間とたたないうちに品切れとなった。文化祭における「筑駒グッズ」の需要はたいへんなものであると感じる。喫茶以外の場面でも収益の確保に活かせないか？

⑥待機列ソファ前で他班のCM放映

…「VIA」のコンセプトの下、各班が提供した30秒CMを白の壁紙に投影し、宣伝を担った。

・文化祭期間中に、若葉会が50周年内若葉会室で会報委員会を開く予定であった。喫茶班としては、衛生管理上、50周年内への立ち入りは避けたいところ。しかし、以前は喫茶班が活動している傍らで会合をしていたこともあるらしく、若葉会関係者が50周年に入るルートは確保していた様子。今年については、若葉会事務局にお願いをし、大会議室を代替会場としてもらった。また、現在の衛生条件について説明をし、次年度以降にも配慮していただくよう要請した。ただ、会報委員会以外にも若葉会事務局での集まりはしばしばあるようで、そのつど調整が必要である。

・注文の伝達にはgoogle keepを利用し、複数のデバイスで同期するシステムを採った。この運用にはwifiの安定が必須であり、ルーターを2つレンタルして不調時に備えたが、本番では2台とも不調という事態が起こった。注文伝達をLINEに切り替えて乗り切ったが、やはりwifi依存はリスクが大きい。

・初めて試作会をしたのが4/29、以後は5/18-19(模擬文①)、7/15、9/11、9/18、9/22、10/1-2(模擬文②)、10/8、10/16、10/22と続き、特残期間に入ってから放課後の時間にメニューを限定して数回の試作を行った。総じて、喫茶班の場合、メニューの自由度が高い分、メニュー確定に時間がかかる。その後レシピを詰めていって、調理技術の熟達へと向かう。そのため、食品班に比べると、試作の回数自体は少なく、メニュー構想の割合が高い。

・食品班と同じく、家庭科の歌津先生にたびたび試作会での指導をしていただいた（全6回）。来ていただく回数や勤務の扱いなどは学年会計の中で管理し、「総合学習の時間」経費と預り金から支出した。

・機材の煮沸消毒には2～3時間ほどかかるため、試作会当日にやっていると時間が足りなくなる。試作会前日の放課後に煮沸消

毒まではやっておくことがほとんどだった。

・当日3日間は、休憩時間を設ける余裕はなく、班員・顧問は全員7～8時間連続で作業に従事した。衛生担当の生徒がチーズトースト調理キャップを同時に担っているなど、無理のある分担になっていたことは否めない。

高3 演劇班・コント班

・コント班、2年の最後から数えると、試演会は計7回行った。
 ・模擬文化祭で、舞台を設置、第2回模擬文化祭で客席も設置で行う予定であったが、雨天で断念し、10月15、16の週末に客席も設置して行った。最終的な演目決定はこの時期であった。

・初期には人間関係のトラブルが多少あった。コンビを組む相手の問題、ネタをだれに担当させるかなど。

・今回は金曜・土曜、来場者が例年より少なかったが、コント班は初日の午前中以外はほぼ満員であった（客席数は176席。これに本校生徒用のゴザ席）。最終日のファイナル公演は300人近くの入場が予想され、事前に両端の観客席を解体してご座席にしたり、立ち見の部分を増やしたりして対応した。インカムによって、入

り口付近、外部の整列場、本校生徒の整列場などと常に連絡を取りながら、入場を調整していた。顧問も地震などに備えて、インカムの着用をしていた。

・演劇班は、通常の練習は池ノ上の無料施設で行っていた。人数が少なかったが、コント班のコラボによって、より深い演劇をすることができた。

・ただし、コント公演3種類、演劇、コラボ演劇と行うと、ほぼ公演の休みがなくなり、ヘルプが入ると一杯一杯であった。顧問として、必ず会場入り口に立つようにしたが、食事は準備室が近かったので駆け込んで、おむすびを食べるという生活であった。

※コント班員 文化祭当日シフト例

1日目	2日目	3日目
09:30 - 09:40 OS誘1	09:25 - 09:40 裏	09:20 - 10:30 外受
09:40 - 10:25 出演	09:40 - 10:25 出演	10:30 - 10:40 移動
10:30 - 10:35 移動	10:25 - 10:35 移動	10:40 - 12:15 器洗1
10:35 - 12:40 外受	10:35 - 12:50 ト消	12:15 - 12:20 移動
12:40 - 12:45 裏	12:50 - 13:00 移動	12:20 - 12:35 裏
12:45 - 13:30 出演	13:00 - 13:20	12:35 - 13:20 出演
13:30 - 13:35 移動	13:20 - 13:25 移動	13:20 - 13:30 OS誘2
13:35 - 14:05 外整1	13:25 - 14:45 外受	13:35 - 13:45 移動
14:20 - 14:30 移動	14:55 - 15:10 裏	13:45 - 15:00 店迎
14:30 - 15:30 器洗1	15:10 - 15:55 出演	15:00 - 15:05 移動
15:30 - 15:35 移動		15:05 - 15:20 裏
		15:20 - 16:20 出演
		16:20 - 16:30 裏

チケット作成・会計

・9月の末にチケット印刷用の用紙を注文。監査などの経験をした生徒が縁日・がらくた・食品班の会計をしており、元監査委員長も縁日班にいて、彼らのプロ意識は高かった。チケットの印刷データが10月初めに完成。以前は、チケットを印刷してからナンバリングを手作業で行っていたが、昨年度からナンバリングをま

ず用紙に印刷（PCで打ち出し）、その後チケットの印刷を印刷室で行うという方式をとっている。PCでの打ち出しで、顧問は2日間ほどかかった。ナンバーとチケットの印刷がきれいにスペースに収まるように生徒がデザインしたので、問題は発生しなかった。

・10月の初めから10日くらい、放課後はチケット制作にあたった。

この間、金券であるため顧問は常に教育相談室か印刷室に詰めていた。食品班、喫茶班、ステージ班の顧問は基本的に、試作会や練習の際、その場にはいないといけないので、チケット作成は演劇・コント班顧問が必然的にすることになる。顧問の分担は、これ以外にもあるかもしれないが、衛生面などの監督を考えると、演劇・コントの顧問がチケット作成・会計監査担当を兼ねる、というスタイルが一番妥当だと思われる。

・今回は事前販売という試みをした。10月17日(月)のHRで希望調査、24日(月)にチケット配布、としたが各学年でHRにすべきこと

もあり、他学年の担任団の好意に甘えての販売であった。事前に販売するとコピーや偽造する時間もあるので、万一のために配布したチケット番号はすべて控えておいた。この販売の是非については、他学年のご意見を伺いたい。

・会計は釣銭も用意するが、今回日ごとの釣銭も計算し、小銭の種類の数も決めて、あらかじめ銀行に連絡しておいたため、釣銭準備はスムーズであった。日ごとの釣銭もはっきりしているため、監査の際、チケット売上げと釣銭を除く純売上も即座に計算で来た。これは継続したほうが会計的に楽である。

3. 終わりに

以前に比べ生徒個々の能力はいろいろな点で高まっているが、コミュニケーションをうまくとることができない者が増えていて、SNSなどでのトラブルも急増している。少子化など社会の変化によって過保護や無干渉が増加しており、年齢相応の適切な親子関係を構築できない場合も多い。また近隣へも今まで以上に気を遣う必要があるなど、学校行事を有意義に実施するための障害は増えてきた。

しかし多くの生徒たちはこれらの活動から得るものを大切に思い、最大限の努力を費す。生徒主体の取り組みはロスが多く、時間もかかるが、生徒は様々な経験を通して生きる力を身につける。SSHなどの新たな活動を含め、オーバーワークにならないような枠組み作るとともに、一つ一つの問題を生徒自身が解決できるよう丁寧にアドバイスしていく必要がある。

(取り纏め文責 生徒部 鈴木清夫)